

様式第一（第一条第一項関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

計画書

平成 29 年 4 月 1 日

所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関 殿

提出者の住所又は
主たる事務所の所在地
提出者の氏名又は名称
代表者の氏名

東京都千代田区霞が関一丁目 1 番 1 号
株式会社国土交通 印
代表取締役社長 国土 太郎

設計者氏名

株式会社建築設計 一級建築士事務所
設計 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 12 条第 1 項（同法第 15 条第 2 項の規定により読み替えて適用される場合を含む。）の規定により、建築物エネルギー消費性能確保計画を提出します。この計画書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	適合判定通知書番号欄	決裁欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

[建築主等に関する事項]

【1. 建築主】	
【イ. 氏名のフリガナ】	カバシカ イシャコト コウツウ タ イョウトリシマリヤクシヤチョウ コクトロウ
【ロ. 氏名】	株式会社国土交通 代表取締役社長 国土 太郎
【ハ. 郵便番号】	000-0000
【ニ. 住所】	東京都千代田区霞が関一丁目1番1号
【ホ. 電話番号】	03-0000-0000
【2. 代理者】	
【イ. 資格】	(一級) 建築士 (大臣) 登録第 000000 号
【ロ. 氏名】	設計 太郎
【ハ. 建築士事務所名】	(一級) 建築士事務所 (東京都) 知事登録第 0000 号 株式会社建築設計 一級建築士事務所
【ニ. 郵便番号】	111-1111
【ホ. 所在地】	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
【ヘ. 電話番号】	03-1111-1111
【3. 設計者】	
(代表となる設計者)	
【イ. 資格】	(一級) 建築士 (大臣) 登録第 000000 号
【ロ. 氏名】	設計 太郎
【ハ. 建築士事務所名】	(一級) 建築士事務所 (東京都) 知事登録第 0000 号 株式会社建築設計 一級建築士事務所
【ニ. 郵便番号】	111-1111
【ホ. 所在地】	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
【ヘ. 電話番号】	03-1111-1111
【ト. 作成した設計図書】	全ての設計図書
(その他の設計者)	
【イ. 資格】	(一級) 建築士 (大臣) 登録第 999999 号
【ロ. 氏名】	意匠 花子
【ハ. 建築士事務所名】	(一級) 建築士事務所 (東京都) 知事登録第 0000 号 株式会社建築設計 一級建築士事務所
【ニ. 郵便番号】	111-1111
【ホ. 所在地】	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
【ヘ. 電話番号】	03-1111-1111
【ト. 作成した設計図書】	意匠図
【イ. 資格】	(一級) 建築士 (大臣) 登録第 999998 号
【ロ. 氏名】	設備 二郎
【ハ. 建築士事務所名】	() 建築士事務所 () 知事登録第 号 株式会社設備設計
【ニ. 郵便番号】	111-9999

【ホ. 所在地】	東京都新宿区西新宿一丁目1番1号
【ヘ. 電話番号】	03-9999-9999
【ト. 作成した設計図書】	設備図
【4. 確認の申請】	
☐ 申請済 ()	
☒ 未申請 (東京都)	
【5. 備考】	

(第三面)

建築物エネルギー消費性能確保計画

[建築物及びその敷地に関する事項]

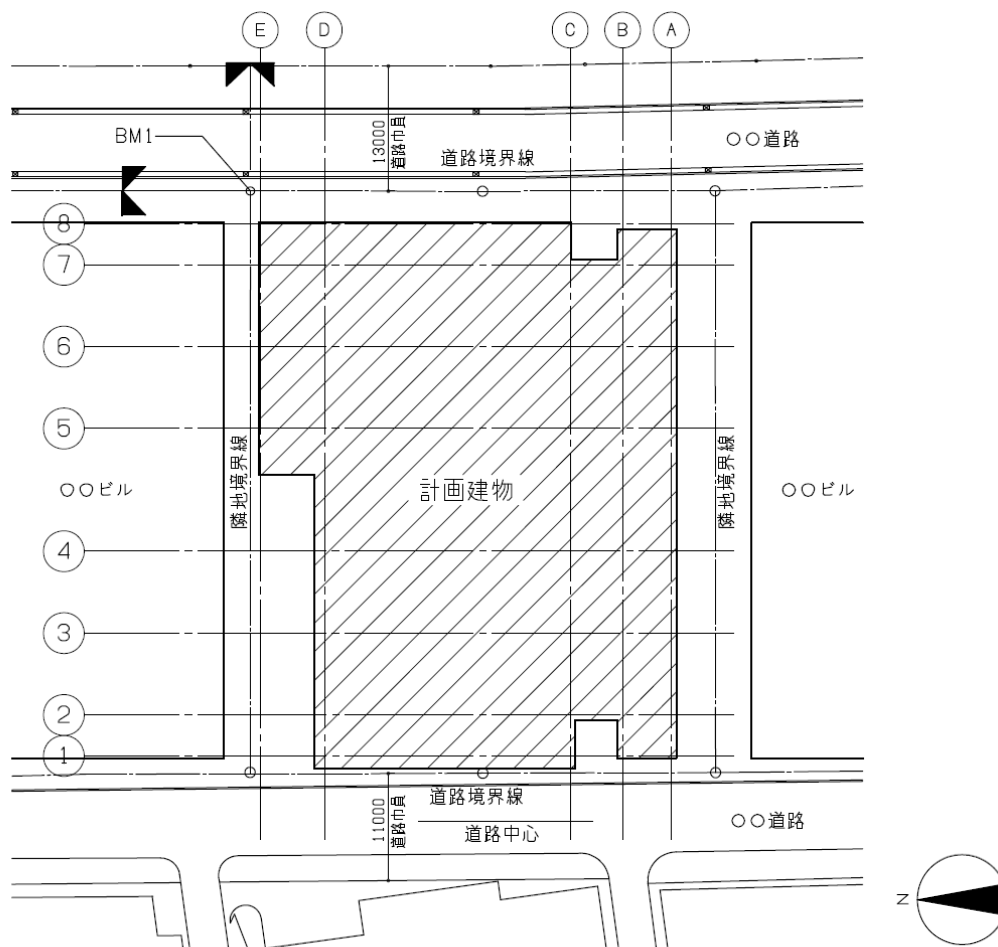
【1. 地名地番】	東京都〇〇区
【2. 敷地面積】	1,652.95 m ²
【3. 建築面積】	1,237.50 m ²
【4. 延べ面積】	10,814.18 m ²
【5. 建築物の階数】	(地上) 9 階、(塔屋) 1 階、(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	☒ 非住宅建築物 ☐ 複合建築物
【7. 工事種別】	☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築
【8. 構造】	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部 鉄筋コンクリート造、鉄骨造
【9. 該当する地域の区分】	6 地域
【10. 工事着手予定年月日】	平成 29 年 6 月 1 日
【11. 工事完了予定年月日】	平成 31 年 3 月 31 日
【12. 備考】	

(第四面)

【 1. 付近見取図】



【 2. 配置図】



(第五面)

[非住宅部分に関する事項]

【1. 非住宅部分の用途】 事務所、飲食店			
【2. 非住宅部分の床面積】 (床面積) (開放部分を除いた部分の床面積)			
【イ. 新築】	(10,814.18 m ²)	(10,814.18 m ²)	
【ロ. 増築】	全体 (m ²)	(m ²)	
	増築部分 (m ²)	(m ²)	
【ハ. 改築】	全体 (m ²)	(m ²)	
	改築部分 (m ²)	(m ²)	
【3. 基準省令附則第3条の適用の有無】 ☐ 有 ☒ 無			
竣工年月日 年 月 日 竣工			
【4. 非住宅部分のエネルギー消費性能】			
☐ 基準省令第1条第1項第1号イの基準 ☒ 基準省令第1条第1項第1号ロの基準			
基準一次エネルギー消費量 GJ/年			
設計一次エネルギー消費量 GJ/年			
BEI (0.93)			
☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果			
()			
【5. 備考】			

(第六面)

[住宅部分に関する事項]

【1. 建築物の住戸の数】		戸	
【2. 住宅部分の床面積】		(床面積)	(開放部分を除いた部分の床面積)
【イ. 新築】	(	m ²)	(m ²)
【ロ. 増築】	全体 (	m ²)	(m ²)
	増築部分 (	m ²)	(m ²)
【ハ. 改築】	全体 (	m ²)	(m ²)
	改築部分 (	m ²)	(m ²)
【3. 基準省令附則第2条の適用の有無】		☐ 有 ☐ 無	
認定を受けた所管行政庁の名称 ()			
【4. 基準省令附則第4条の適用の有無】		☐ 有 ☐ 無	
竣工年月日 年 月 日 竣工			
【5. 住宅部分のエネルギー消費性能】			
☐ 基準一次エネルギー消費量		GJ/年	
設計一次エネルギー消費量		GJ/年	
B E I ()			
☐ 一次エネルギー消費量に関する仕様基準			
共用部分の基準一次エネルギー消費量 (		GJ/年)	
共用部分の設計一次エネルギー消費量 (		GJ/年)	
☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果			
()			
【6. 備考】			

(第七面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】			
【2. 住戸の存する階】		階	
【3. 専用部分の床面積】		㎡	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】			
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項			
☐ 外皮平均熱貫流率		W/(㎡・K)	(基準値 W/(㎡・K))
冷房期の平均日射熱取得率		(基準値	)
☐ 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準			
☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果			
(		)	
☐ 基準対象外			
2. 一次エネルギー消費量に関する事項			
☐ 基準一次エネルギー消費量		GJ/年	
設計一次エネルギー消費量		GJ/年	
BEI ()			
☐ 一次エネルギー消費量に関する仕様基準			
☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果			
(		)	

(参考様式)

設計内容説明書（モデル建物法）

建築物の名称	Aビル新築工事
建築物の所在地	東京都〇〇区
設計者等氏名	設計 太郎

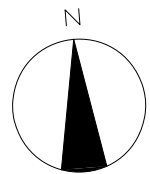
【設計内容】

確認事項	確認項目	設計内容説明欄			確認欄
		項目	設計内容	図書の種類	
建築物等の概要	建築物に関する事項	用途	■非住宅 □複合建築物 非住宅部分の用途（事務所、飲食店）	■出力シート ■建築概要・仕様書 ■床面積算定表	□ 適 □ 否
		地域の区分	（ 6 ）地域		
		階数	・地上（ 9 ）階、地下（ 1 ）階		
		床面積	・延べ面積 (10,814.18) m ² ・計算対象部分の床面積 (10,814.18) m ²		
	計算条件	適用モデル建物	□単一モデル建物 ■複数モデル建物 モデル建物の種類（事務所モデル、飲食店モデル）		
外皮の概要	外壁等の性能	計算手法等	■断熱材の種類及び厚みを入力 □断熱材の熱伝導率及び厚みを入力 □外壁等の熱貫流率を入力	■出力シート ■断熱範囲図 ■断熱材面積算定表 ■立面図	□ 適 □ 否
	窓の性能	計算手法等	■建具の種類及びガラスの種類を入力 □建具の種類並びにガラスの熱貫流率及び日射熱取得率を入力 □窓の熱貫流率及び日射熱取得率を入力	■出力シート ■立面図 ■建具表	□ 適 □ 否
空気調和設備等の概要	各設備の性能	対象の有無	・計算対象空気調和設備の有無 ■有 □無 ・計算対象機械換気設備の有無 ■有 □無 ・計算対象照明設備の有無 ■有 □無 ・計算対象給湯設備の有無 ■有 □無 ・計算対象昇降機の有無 ■有 □無	■出力シート ■機器リスト ■配管系統図・ダクト系統図 ■自動制御図等	□ 適 □ 否
		太陽光発電設備	・太陽光発電設備の有無 ■有 □無 有りの場合 ■全量自家消費 □売電有り 年間日射地域区分（ A 3 ）区分	■出力シート ■太陽光発電設備図	□ 適 □ 否
結果	適否等	一次エネルギー消費量	・基準省令第1条第1項第1号ロの基準への適合 ■適合（BEI _m ： 0.85 ） □不適合	■出力シート	□ 適 □ 否

図 面 リ ス ト				
通し番号	図面番号	名 称	縮尺（Ａ３）	備 考
０１	共－１	建物概要・付近見取図・配置図・仕様書	-	
０２	意－１	地下１階平面図	1/200	
０３	意－２	１階平面図	1/200	
０４	意－３	２～９階平面図	1/200	
０５	意－４	塔屋階平面図	1/200	
０６	意－５	断熱範囲図	1/400	
０７	意－６	立面図（１）	1/400	断熱範囲図を兼用
０８	意－７	立面図（２）	1/400	断熱範囲図を兼用
０９	意－８	断面図	1/400	
１０	意－９	建具キープラン・建具表	1/400	
１１	空－１	機器リスト（１）	-	
１２	空－２	機器リスト（２）	-	
１３	空－３	配管系統図	1/200	
１４	空－４	ダクト系統図	1/200	
１５	空－５	自動制御図（１）	-	
１６	空－６	自動制御図（２）	-	
１７	電－１	照明器具姿図・照明制御図	-	
１８	電－２	１階照明設備平面図	1/200	
１９	電－３	２～９階照明設備平面図	1/200	
２０	衛－１	機器リスト・器具リスト	-	
２１	衛－２	給排水系統図	1/200	
２２	昇－１	昇降機設備図	-	
２３	太－１	太陽光発電設備図	-	

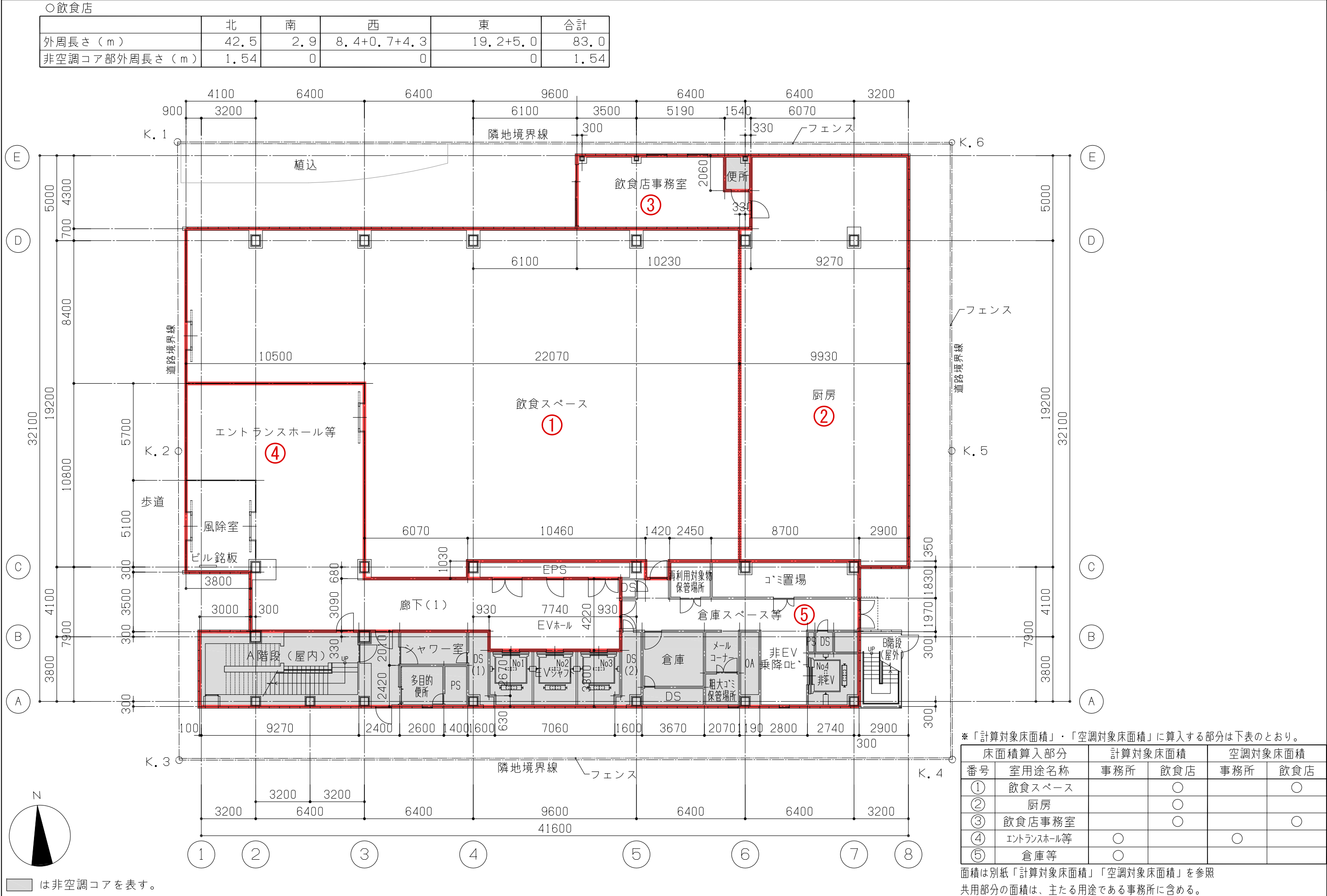
1	建物概要・仕様書		-	2	付近見取図	1/2500																																						
1. 工事名Aビル新築工事 2. 工事場所東京都〇〇区 3. 敷地面積1652.95㎡（500.02坪） 4. 工事種別新築 5. 階数地上9階、地下1階、塔屋1階 6. 建物概要 主要用途事務所、飲食店 建築面積1,237.50㎡（374.34坪） 建築物全体10,814.18㎡（3,271.22坪） 延べ面積10,814.18㎡（3,271.22坪） 構造 基礎及び地盤場所打ちコンクリート杭（高炉セメント） 架 構1階柱以上：鉄骨造 1階床以下：鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造） 床2階床以上：デッキプレート拾型枠鉄筋コンクリートスラブ 1階床以下：鉄筋コンクリート造スラブ 主な外部仕上 概 要アスファルト防水コンクリート直ならし 外 壁東面：Low-E複層ガラスカーテンウォール 西面：Low-E複層ガラスカーテンウォール 北面：気泡コンクリート（ALC） 南面：気泡コンクリート（ALC）			8. 主要設備の概要 (1)電気設備概要 1. 電力引込：6KV 1回線高压引込 2. 受変電：6KV1回線受電 キュービクル型変圧器 300KVA×3台 500KVA×2台 100KVA×1台 将来変圧器増設スペース 3. 非常用自家発電：ディーゼル発電機300kVA程度 1台設置（防災用）テナント用発電機スペース 4. 蓄電池：非常照明、受変電操作用 MSE型 300AH（防災用） 5. 動力：3φ3W200V 6. 電灯・コンセント：1φ3W 200/100V 7. 通信：電話・通信配管、情報、テレビ共聴、放送、インターホン 8. 防災：火災報知・防排煙、誘導灯、非常照明、非常放送 9. 防犯：機械警備・入退室管理用空配管 10. 中央監視：設備監視を中央監視盤にて行う。 (2)空調設備概要 1. 熱源設備：空気熱源ヒートポンプチャージ、一部パッケージエアコン 2. ポンプ設備：台数制御・インバーター制御 3. 配管設備：4管式 4. 空調設備：事務所部分 基準階西側ベリメータ・インテリア系統/単一ダクトVAV方式 事務所部分 基準階東側ベリメータ・インテリア系統/単一ダクトVAV方式 1階飲食スペース・飲食店事務室/パッケージエアコン 5. 換気設備：第1種換気/PS、倉庫、厨房 第3種換気/受水槽室、消火ポンプ、排気ファン室、便所 6. 排煙設備：機械排煙（2系統） (3)衛生設備工事 1. 給水設備：加圧給水方式 2. 給湯設備：便所・湯沸室/電気による局所給湯方式 3. 衛生器具設備：大便器/洗浄便座+フラッシュバルブ（女子のみ節水用擬音発生装置付き）小便器/自動感知洗浄方式洗面器/自動混合水栓 4. 汚水通気設備：汚水、雑排水合流式 5. 消火設備：屋内消火栓設備/全館スプリンクラー消火設備/8～9、階の各階連結送水管設備/3階～PH階に各階1ヶ所ずつ (4)昇降機設備 エレベーター <table><tr><td>用途</td><td>乗用</td><td>非常用</td></tr><tr><td>機器</td><td>No. 1～3号機</td><td>No. 4</td></tr><tr><td>台数</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>停止箇所</td><td>1～9階</td><td>B1～9階</td></tr><tr><td>操作方法</td><td>群管理</td><td>乗合全自動</td></tr><tr><td>速度</td><td>150m/min</td><td>150m/min</td></tr><tr><td>積載荷重</td><td>1600Kg</td><td>2500Kg</td></tr><tr><td>定員</td><td>24人</td><td>24人</td></tr><tr><td>非常時の管制運転</td><td colspan="2">・地震時管制運転 ・火災時管制運転 ・停電時管制運転</td></tr><tr><td>備考</td><td colspan="2">身障者仕様（No. 3のみ）</td></tr></table>			用途	乗用	非常用	機器	No. 1～3号機	No. 4	台数	3	1	停止箇所	1～9階	B1～9階	操作方法	群管理	乗合全自動	速度	150m/min	150m/min	積載荷重	1600Kg	2500Kg	定員	24人	24人	非常時の管制運転	・地震時管制運転 ・火災時管制運転 ・停電時管制運転		備考	身障者仕様（No. 3のみ）		付近見取図								
用途	乗用	非常用																																										
機器	No. 1～3号機	No. 4																																										
台数	3	1																																										
停止箇所	1～9階	B1～9階																																										
操作方法	群管理	乗合全自動																																										
速度	150m/min	150m/min																																										
積載荷重	1600Kg	2500Kg																																										
定員	24人	24人																																										
非常時の管制運転	・地震時管制運転 ・火災時管制運転 ・停電時管制運転																																											
備考	身障者仕様（No. 3のみ）																																											
7. 延べ面積内訳 <table><thead><tr><th>階</th><th colspan="2">床面積</th></tr></thead><tbody><tr><td>PH階</td><td>111.36㎡</td><td>(33.69 坪)</td></tr><tr><td>9</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>8</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>7</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>6</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>5</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>4</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>3</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>2</td><td>1,130.54㎡</td><td>(341.98 坪)</td></tr><tr><td>1</td><td>1,237.50㎡</td><td>(374.34 坪)</td></tr><tr><td>B1階</td><td>421.00㎡</td><td>(127.35 坪)</td></tr><tr><td>延べ面積</td><td>10,814.18㎡</td><td>(3,271.22 坪)</td></tr></tbody></table>			階	床面積		PH階	111.36㎡	(33.69 坪)	9	1,130.54㎡	(341.98 坪)	8	1,130.54㎡	(341.98 坪)	7	1,130.54㎡	(341.98 坪)	6	1,130.54㎡	(341.98 坪)	5	1,130.54㎡	(341.98 坪)	4	1,130.54㎡	(341.98 坪)	3	1,130.54㎡	(341.98 坪)	2	1,130.54㎡	(341.98 坪)	1	1,237.50㎡	(374.34 坪)	B1階	421.00㎡	(127.35 坪)	延べ面積	10,814.18㎡	(3,271.22 坪)	配置図		
階	床面積																																											
PH階	111.36㎡	(33.69 坪)																																										
9	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
8	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
7	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
6	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
5	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
4	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
3	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
2	1,130.54㎡	(341.98 坪)																																										
1	1,237.50㎡	(374.34 坪)																																										
B1階	421.00㎡	(127.35 坪)																																										
延べ面積	10,814.18㎡	(3,271.22 坪)																																										
			<table><tr><td>設計責任者 設計太郎 印 (大臣)登録第0000000号</td><td>Aビル新築工事 建物概要・付近見取図・配置図・仕様書</td><td>共 (通し番号 01) 共 - 1 No.</td></tr></table>			設計責任者 設計太郎 印 (大臣)登録第0000000号	Aビル新築工事 建物概要・付近見取図・配置図・仕様書	共 (通し番号 01) 共 - 1 No.																																				
設計責任者 設計太郎 印 (大臣)登録第0000000号	Aビル新築工事 建物概要・付近見取図・配置図・仕様書	共 (通し番号 01) 共 - 1 No.																																										

7. 延べ面積内訳



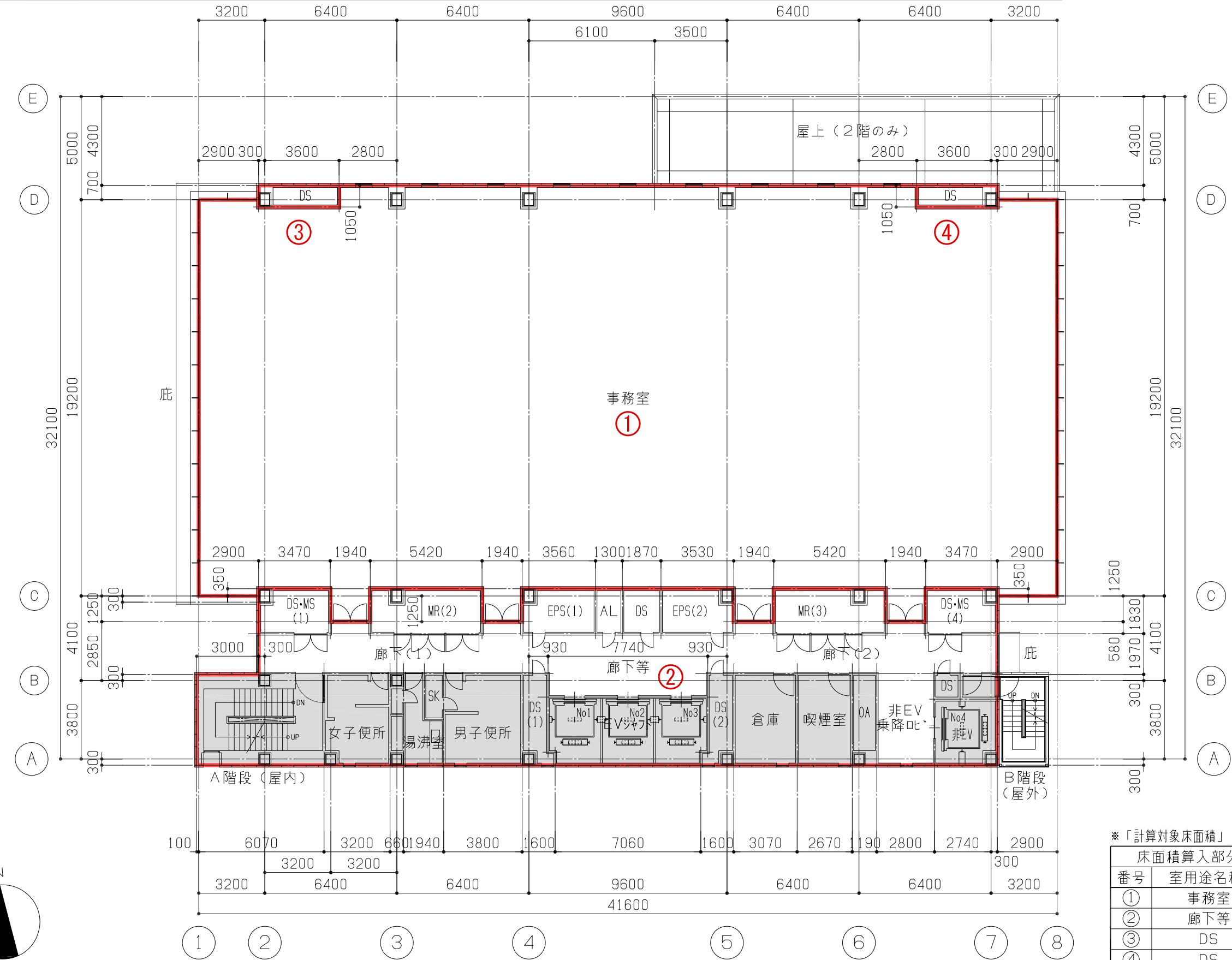
床面積算入部分		計算対象床面積		空調対象床面積	
番号	室用途名称	事務所	飲食店	事務所	飲食店
①	倉庫等	○			

設計責任者 設計太郎  (大抵)登録第0000000号	Aビル新築工事 地下1階平面図	 (通し番号 02) 意 - 1 No.
---	------------------------	---



○事務所

	北	南	西	東	合計
外周長さ（m）	3.0+41.6	0.1+41.6+2.9	0.3+3.8+4.1+19.2+0.7	0.3+3.8+4.1+19.2+0.7	145.4
非空調コア外周長さ（m）	3.0	0.1+41.6-2.9-2.8	0.3+ 3.8+0.3	0.3+ 3.8+0.3	47.8

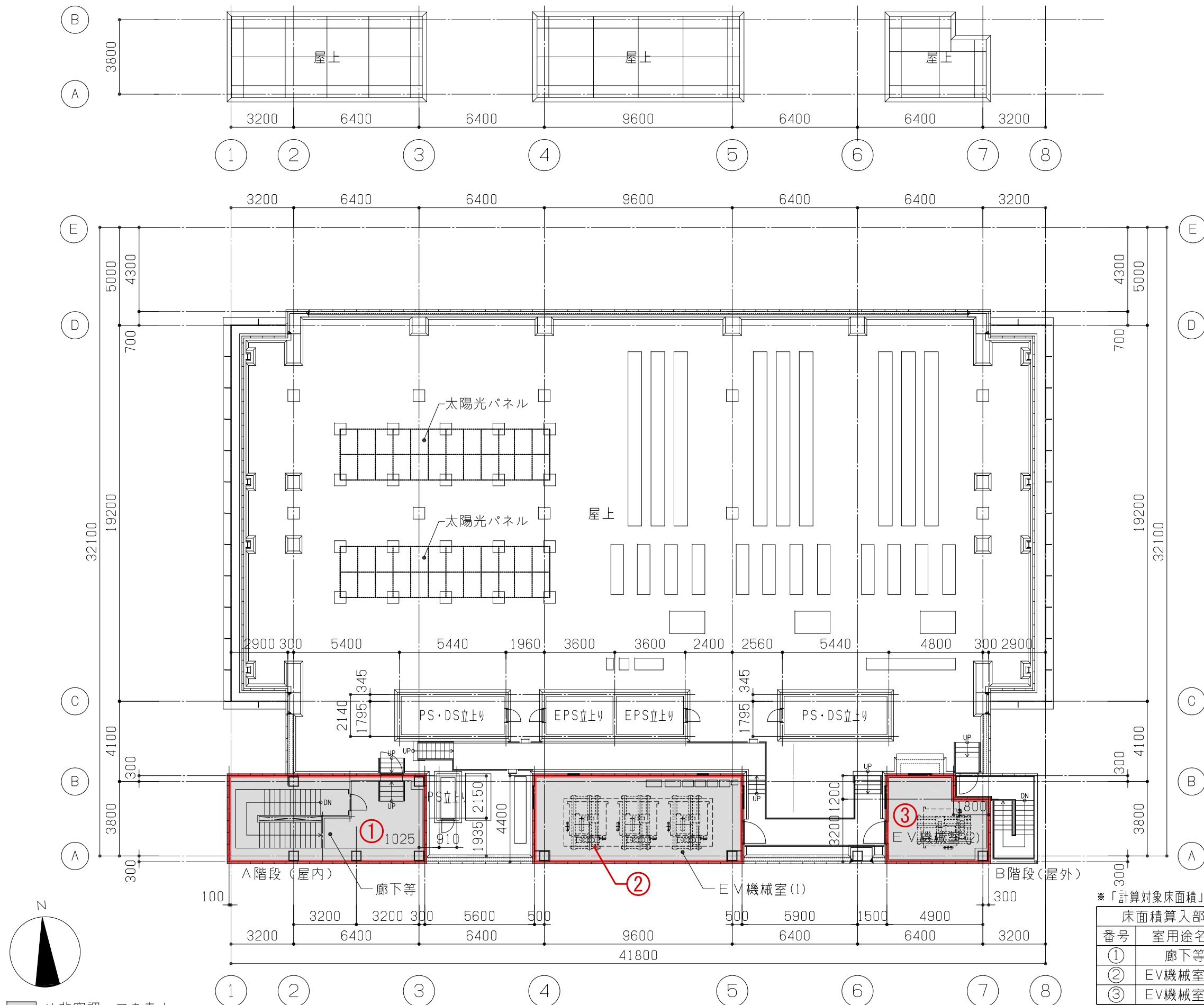


※「計算対象床面積」・「空調対象床面積」に算入する部分は下表のとおり。

床面積算入部分		計算対象床面積		空調対象床面積	
番号	室用途名称	事務所	飲食店	事務所	飲食店
①	事務室	○		○	
②	廊下等	○			
③	DS	○			
④	DS	○			

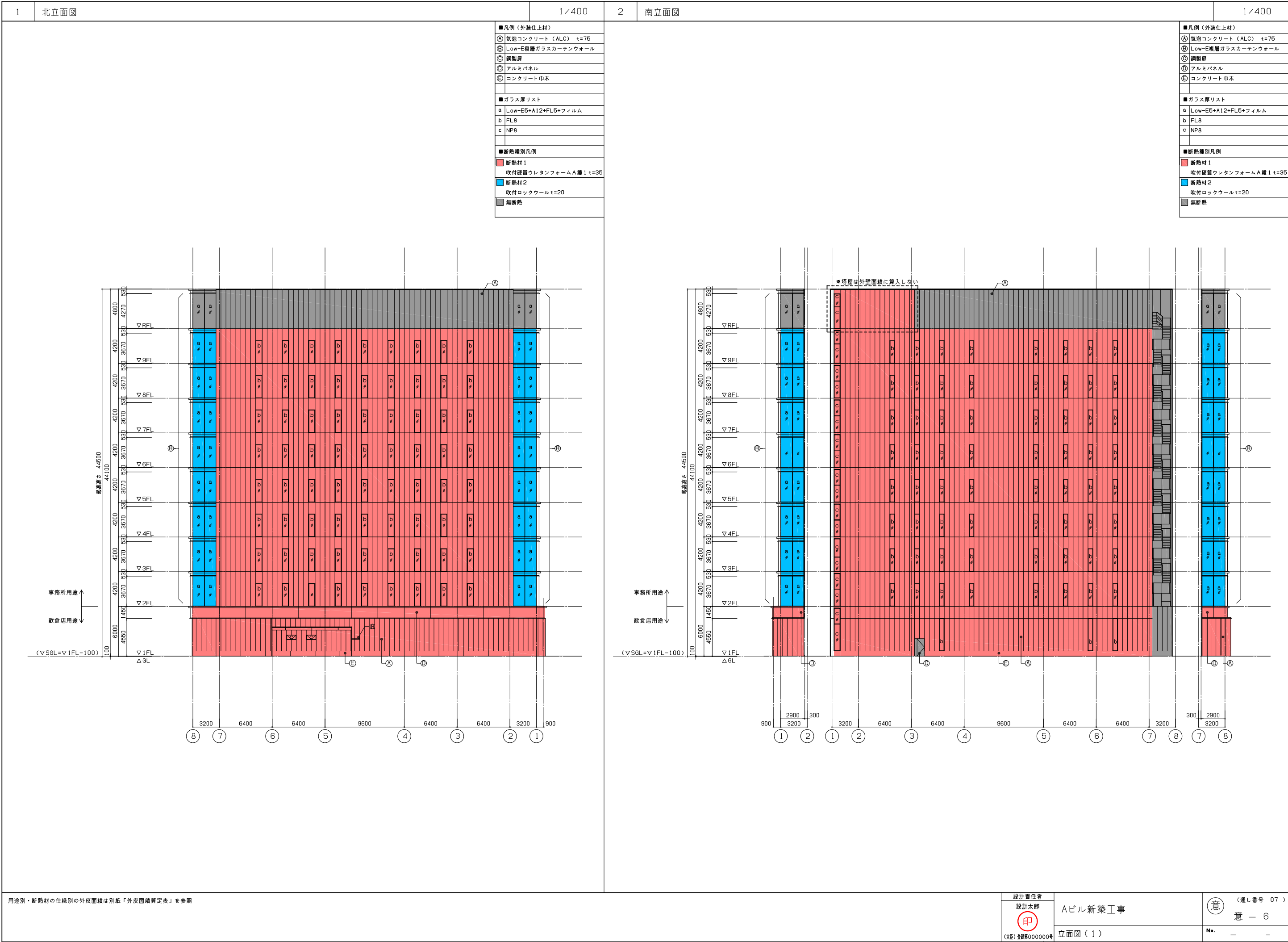
面積は別紙「計算対象床面積」「空調対象床面積」を参照

■ は非空調コアを表す。

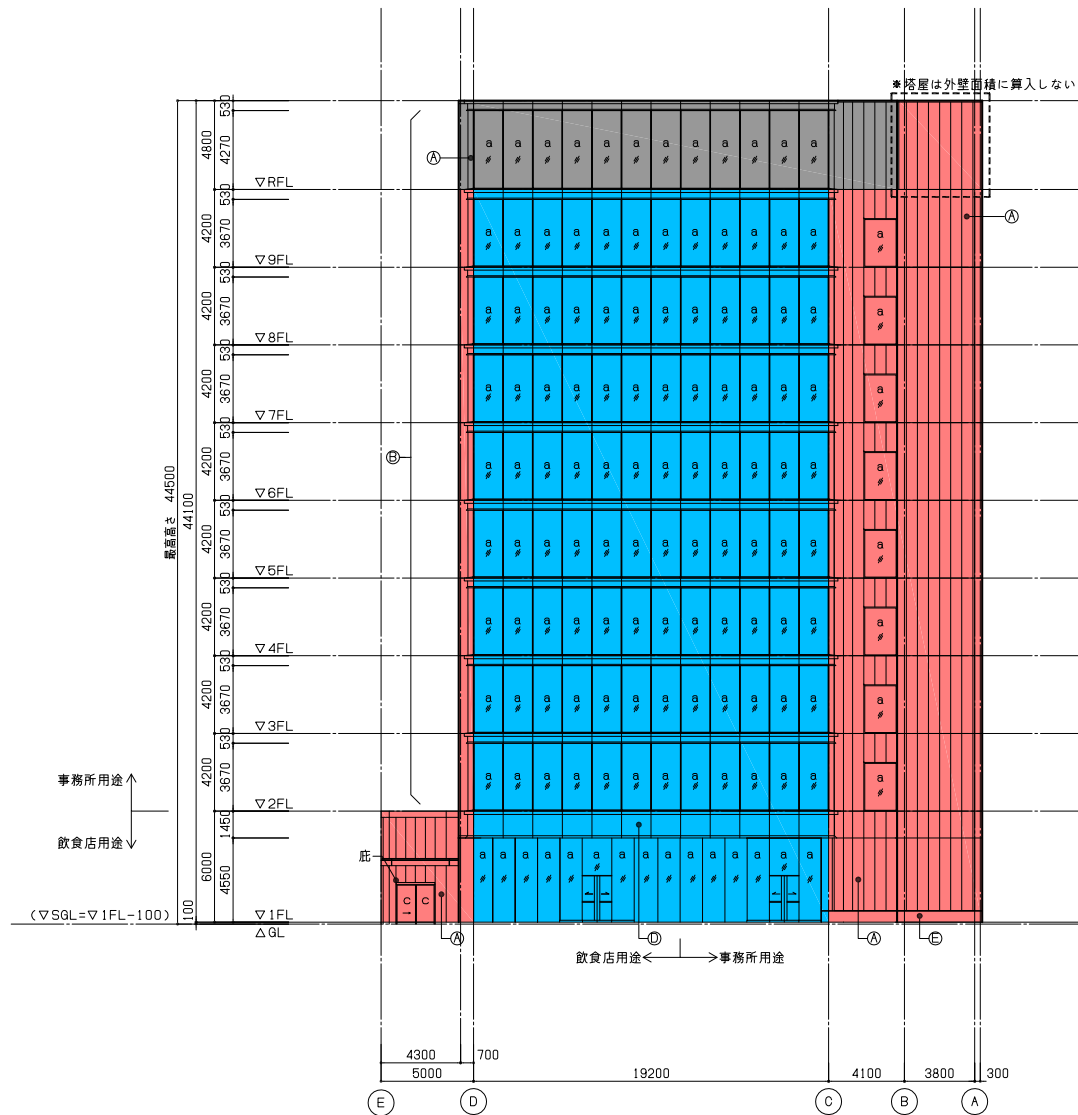


※「計算対象床面積」・「空調対象床面積」に算入する部分は下表のとおり。

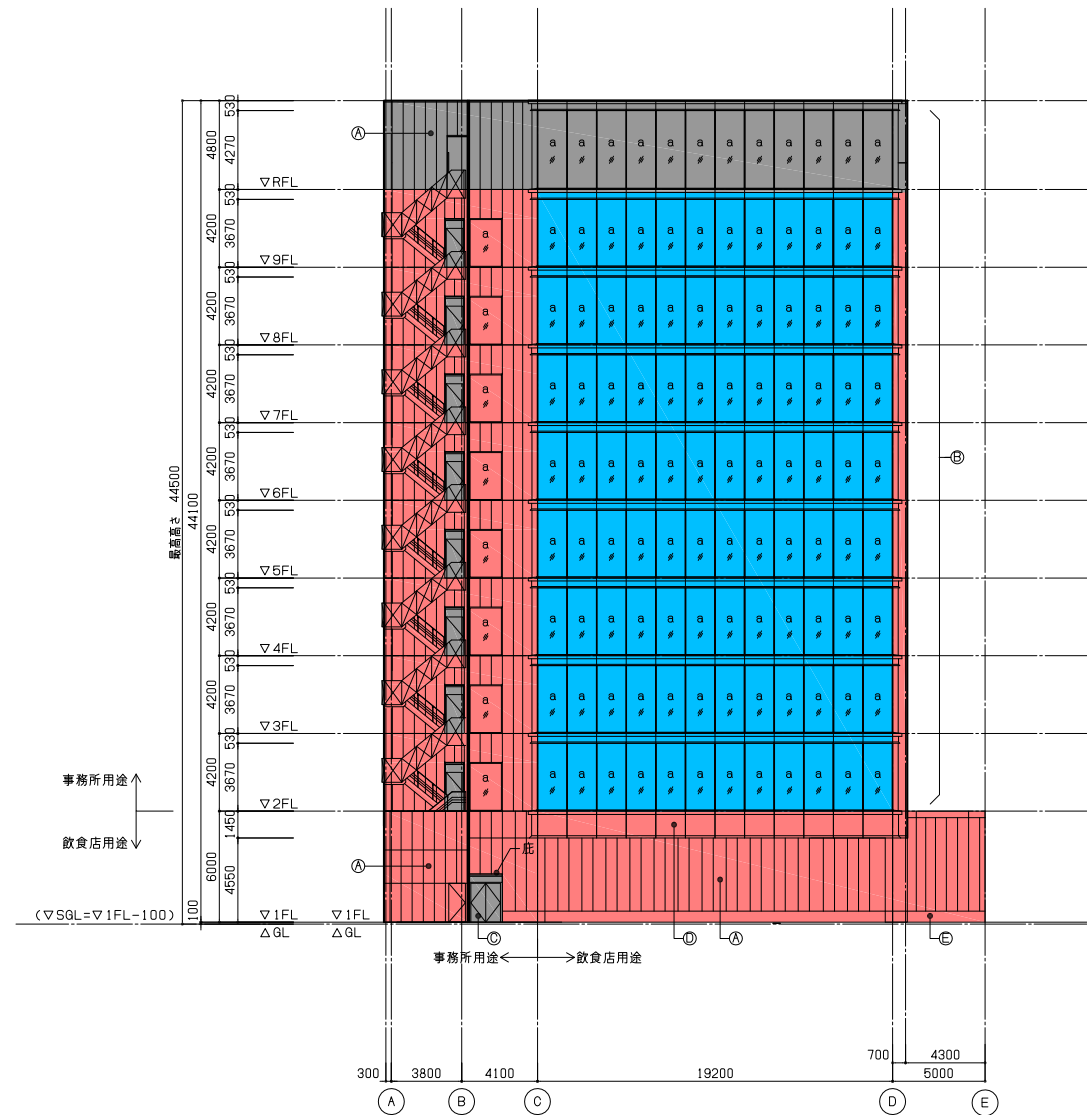
床面積算入部分		計算対象床面積		空調対象床面積	
番号	室用途名称	事務所	飲食店	事務所	飲食店
①	廊下等	○			
②	EV機械室(1)	○			
③	EV機械室(2)	○			



■凡例（外装仕上材）	
④	気泡コンクリート（ALC） $\tau=75$
⑤	Low-E複層ガラスカーテンウォール
⑥	鋼製扉
⑦	アルミバネル
⑧	コンクリート巾木
■ガラス厚リスト	
⑨	Low-E5+Al2+FL5+フィルム
⑩	FL8
⑪	NP8
■断熱層別凡例	
■	新熟材1 吹付硬質ウレタンフォーム A種 1 $\tau=35$
■	新熟材2 吹付ロックウール $\tau=20$
■	無断熱



■凡例（外装仕上材）	
㊦	気泡コンクリート（ALC） t=75
㊧	Low-E複層ガラスカーテンウォール
㊨	鋼製扉
㊩	アルミバネル
㊪	コンクリート巾木
■ガラス厚リスト	
㊫	Low-E5+A12+FL5+フィルム
㊬	FL8
㊭	NP8
■断熱種別凡例	
■	断熱材1 吹付硬質ウレタンフォームA種 t=35
■	断熱材2 吹付ロックウール t=20
■	無断熱



用途別・断熱材の仕様別の外皮面積は別紙「外皮面積算定表」を参照

設計責任者
設計太郎

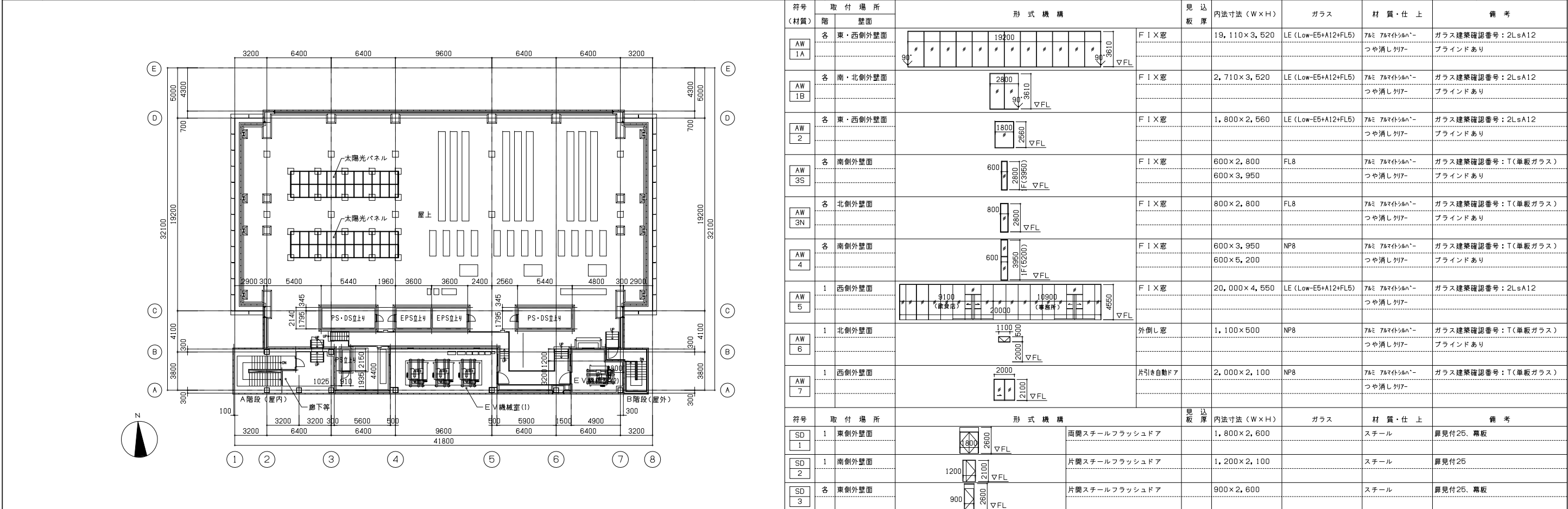
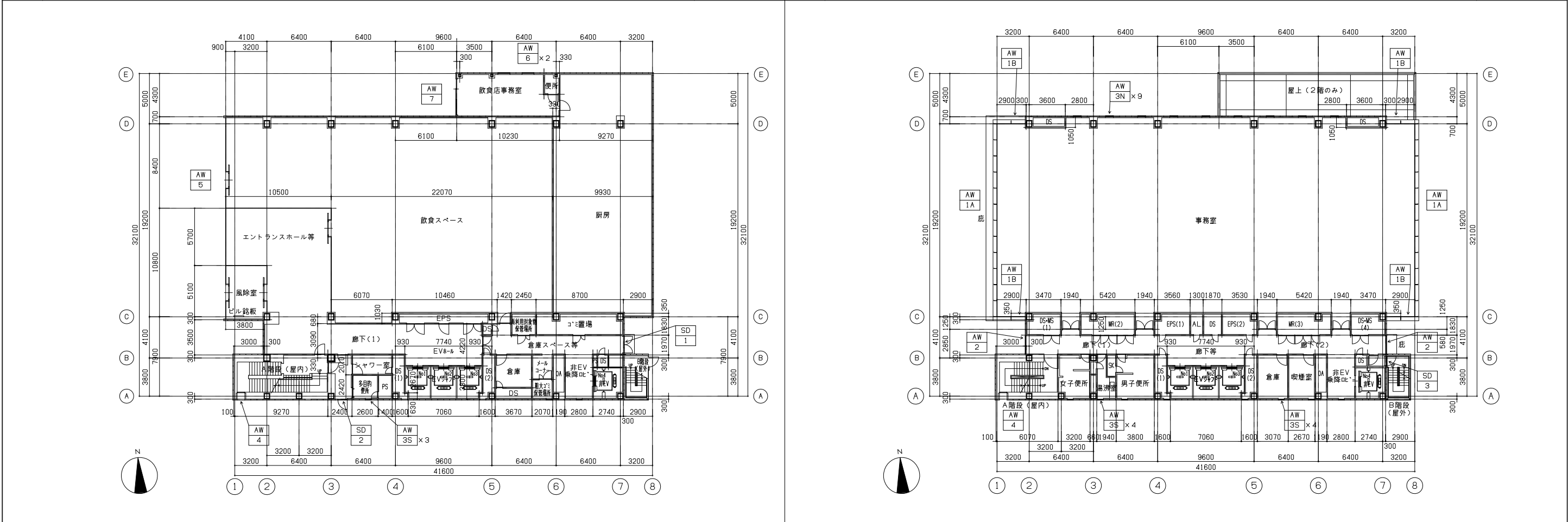
(大臣)登録第00000

Aビル新築工事

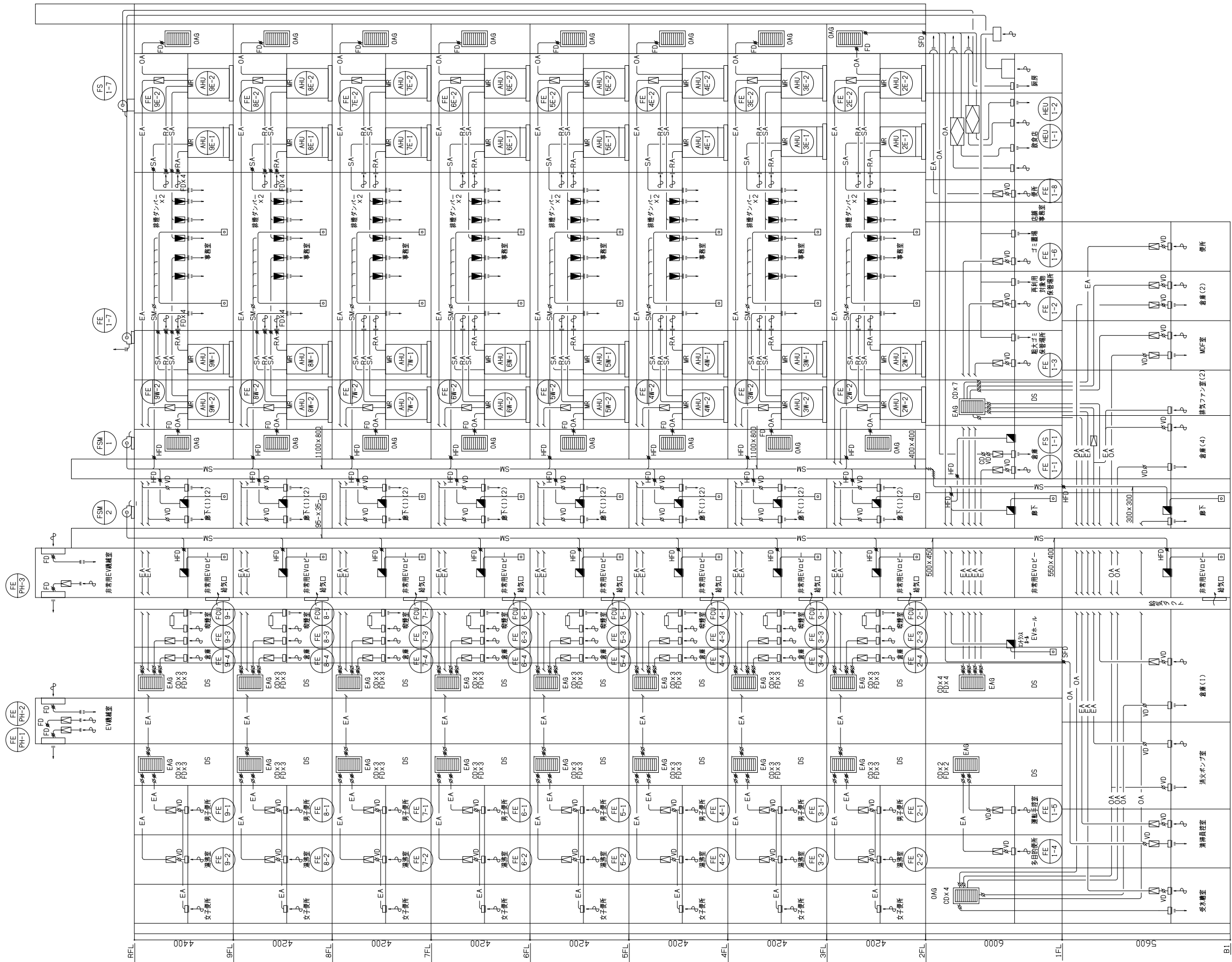
立面図(2)

意 (通し番号 08)
意 - 7



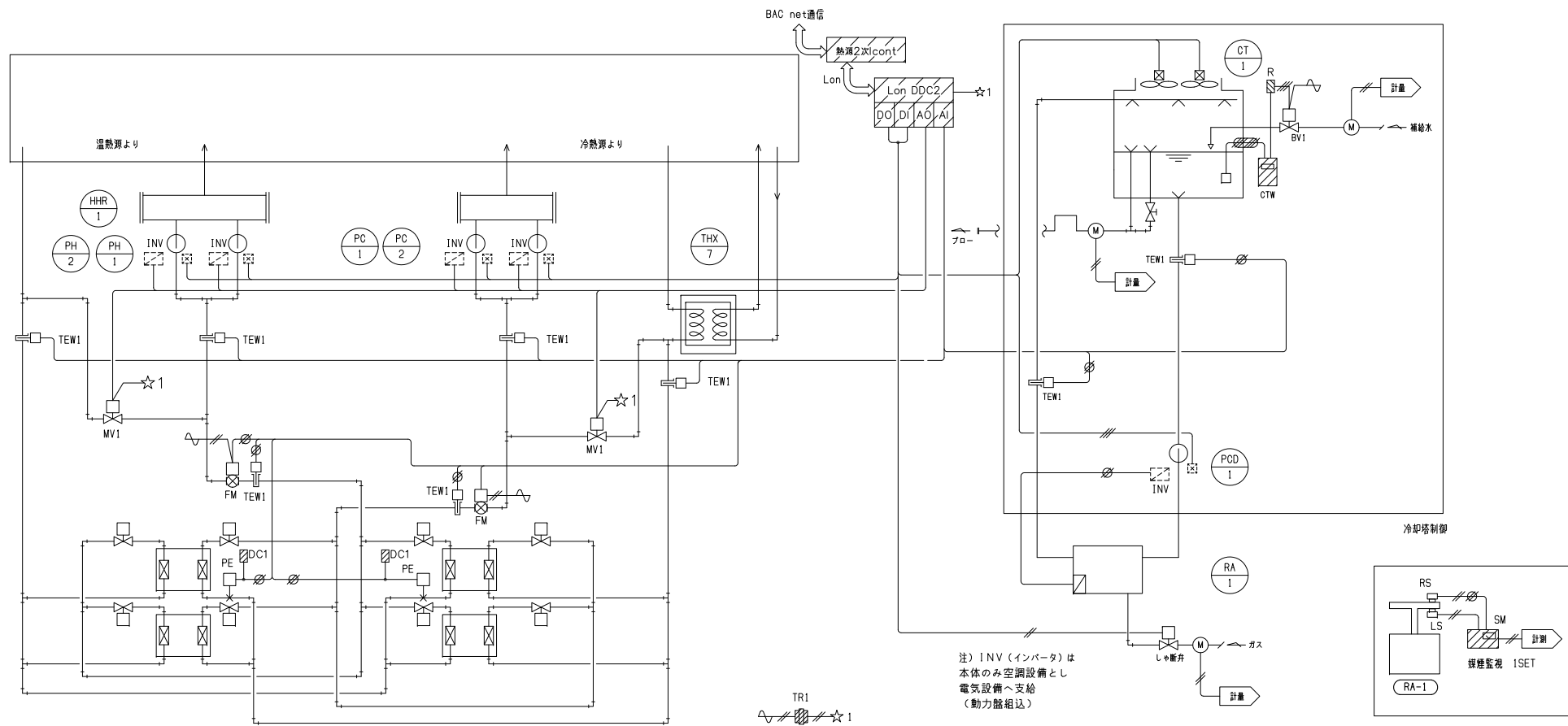


1 機器表（1）										-									
機器番号	機器名称	機 器 仕 様	付属電動機		台 数	設置階	据付位置	備 考	機器番号	機器名称	機 器 仕 様	付属電動機		台 数	設置階	据付位置	備 考		
			電 源	容 量 kW								電 源	容 量 kW						
RHC-1～3	空気熱源ヒートポンプユニット	形式 空気熱源ヒートポンプユニット 【JIS B 8613に規定された定格条件及び試験方法に基づく能力】 冷却能力 208KW 冷水（12℃→7℃） 加熱能力 282KW 温水（40℃→45℃） 【設計条件に基づく能力（外気条件はJIS B 8613による）】 冷却能力 195KW 冷水（13℃→5℃） 加熱能力 282KW 温水（37℃→45℃） 圧縮機 60KW 起動方式 人-Δ 送風機 0.9KW×6 冷温水量 913L/min スプリング式防振架台（チラーユニット） 制御盤、他付属品一式			3	屋上	台数制御 3台ローテーション運転 夏季 3台冷房運転 冬季 2台暖房運転 1台冷房運転 冷媒 R134a	AHU-2～9E-2	空調調和機 （東側インテリア）	コンパクト型空調調和機 給気ファン 12300㎡/h 機外静圧 460Pa 外気量2,000㎡/h 冷水コイル SF 4列 冷却能力 26,80KW 水量 37L/min 7→17℃ 出入口空気 27,8→14,8℃DB 20,4→15,2℃WB 冷温水コイル SF 4列 冷却能力 26,80KW 水量 37L/min 7→17℃ 出入口空気 27,8→14,8℃DB 20,4→15,2℃WB 加熱能力 34,55KW 水量 41L/min 45→35℃ 出入口空気 22→25,6℃DB 13,9→15,4℃WB フィルター 粗塵フィルタ効率 AF1 80%以上 中性能フィル 効率 NBS 65%以上 マノメーター付 全熱交換器 全熱交換効率60%以上 給気風量2,000㎡/h 排気風量1,640㎡/h		3φ	200V	7,5	8	2～9階	MR3	回転数制御 （最小流量比30%） 外気カット制御	
PCH-1～3-1	二次ポンプ	片吸込渦巻ポンプ メカニカルシール 屋外仕様 65φ×50φ×260L/min×0.22MPa（16㎡/h） スプリング式防振架台 他付属品一式			3	屋上	メカニカルシール 台数制御 定流量	FCU-2～9-1	天井吊り隠ぺい型FCU	天井埋込形ファンコイルユニット #1200 チャンバー付 冷房能力 6,60KW 水量 14L/min 7→17℃ 入口空気 26℃DB 18,7℃WB 暖房能力 7,88KW 水量 14L/min 45→35℃ 入口空気 22℃DB 送風機 2004㎡/h フィルター 中性能フィルター 付属品 加湿器				8	2～9F	喫煙室	個別発停		
PCH-1～3-2	二次ポンプ	片吸込渦巻ポンプ メカニカルシール 屋外仕様 65φ×50φ×260L/min×0.22MPa（16㎡/h） スプリング式防振架台 他付属品一式			3	屋上	メカニカルシール 台数制御 回転数制御 （最小流量比30%）					1φ	100V	0.14					
TE-1	膨張タンク（冷水用）	SUS製密閉式膨張タンク タンク容量 250L 最大受水量 100L 空気封入圧力 0.08MPa 圧力計、他付属品一式			1	屋上													
TE-2	膨張タンク（冷温水用）	SUS製密閉式膨張タンク タンク容量 250L 最大受水量 100L 空気封入圧力 0.08MPa 圧力計、他付属品一式			1	屋上													
AHU-2～9W-1	空調調和機 （西側ベリメーター）	コンパクト型空調調和機 給気ファン 3500㎡/h 機外静圧 380Pa 冷水コイル SF 6列 冷却能力 7.44KW 水量 11L/min 7→17℃ 出入口空気 36→15,5℃DB 21,9→15,2℃WB 冷温水コイル SF 6列 冷却能力 7.44KW 水量 11L/min 7→17℃ 出入口空気 26→15,5℃DB 18,7→15,2℃WB 加熱能力 8,36KW 水量 12L/min 45→35℃ 出入口空気 22→30,8℃DB 13,9→17,2℃WB フィルター 粗塵フィルタ効率 AF1 80%以上 中性能フィル 効率 NBS 65%以上 マノメーター付			8	2～9階	MR1	回転数制御 （最小流量比30%）											
AHU-2～9W-2	空調調和機 （西側インテリア）	コンパクト型空調調和機 給気ファン 10000㎡/h 機外静圧 460Pa 外気量2,000㎡/h 冷水コイル SF 4列 冷却能力 21,80KW 水量 32L/min 7→17℃ 出入口空気 27,8→14,8℃DB 20,4→15,2℃WB 冷温水コイル SF 4列 冷却能力 21,80KW 水量 32L/min 7→17℃ 出入口空気 27,8→14,8℃DB 20,4→15,2℃WB 加熱能力 25,00KW 水量 36L/min 45→35℃ 出入口空気 22→25,6℃DB 13,9→15,4℃WB フィルター 粗塵フィルター 効率 AF1 80%以上 中性能フィルター 効率 NBS 65%以上 マノメーター付 全熱交換器 全熱交換効率60%以上 給気風量2,000㎡/h 排気風量1,640㎡/h			8	2～9階	MR2	回転数制御 （最小流量比30%） 外気カット制御											
AHU-2～9E-1	空調調和機 （東側ベリメーター）	コンパクト型空調調和機 給気ファン 2800㎡/h 機外静圧 380Pa 冷水コイル SF 4列 冷却能力 5,93KW 水量 9L/min 7→17℃ 出入口空気 36→15,5℃DB 21,9→15,2℃WB 冷温水コイル SF 4列 冷却能力 5,93KW 水量 9L/min 7→17℃ 出入口空気 26→15,5℃DB 18,7→15,2℃WB 加熱能力 8,36KW 水量 12L/min 45→35℃ 出入口空気 22→30,8℃DB 13,9→17,2℃WB フィルター 粗塵フィルタ効率 AF1 80%以上 中性能フィル 効率 NBS 65%以上 マノメーター付			8	2～9階	MR4	回転数制御 （最小流量比30%）											
* 赤枠はモデル建物の計算対象の設備を表す。																			
設計責任者 設計太郎 （大塚）登録第0000000号										Aビル新築工事 機器リスト（1） （通し番号 11） 空 - 1 No.									



※ 地下1階F0は平面図 参照。

- FE B-4
- FS B-5
- FE B-5
- FE B-2
- FE B-3
- FE B-1
- FE B-1
- FE B-7
- FE B-7
- FE B-6



制 御 内 容
1. 本工場の生産設備の稼働状況を把握し、生産計画の進捗を確認する。 2. 生産設備の故障や異常発生時の対応を迅速に行う。 3. 生産設備の保守点検スケジュールを管理し、計画通りに実施されることを確認する。 4. 生産設備の稼働率を向上させるための施策を検討・実施する。 5. 生産設備の稼働状況を他の部署と連携し、全体の生産計画を調整する。

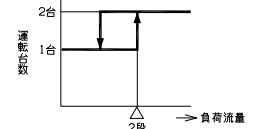
〔2次ポンプ廻り制御〕

- ### 1) 台数制御

- ・中央よりの群発停指令により台数制御開始/終了する。
- ・冷水、温水の各負荷流量により、冷水、温水各ポンプ群台数制御を行う。

[中央監視]

群発停，監視，計測



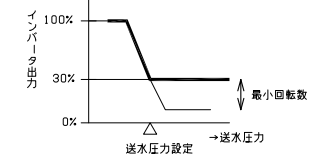
- ・ポンプ故障時スキップ運転
- ・増減段時効果待ち安定制御

〔冷却塔廻り〕

- 1) 冷却水往温度によるファン発停制御
- 2) 冷却水水质（導電率）による自動ブロー制御
- 3) 冷却水往還温度計測
- 4) 冷却水ポンプインバータ制御
吸収式冷凍水機、冷却水出口温度による
インバータ制御（下限リミット）を行う。（冷水水発生機制御）

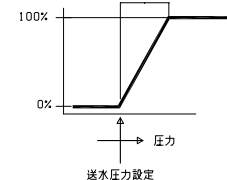
2) インバータ制御

- ・末端圧力によりポンプインバータ制御を行う。



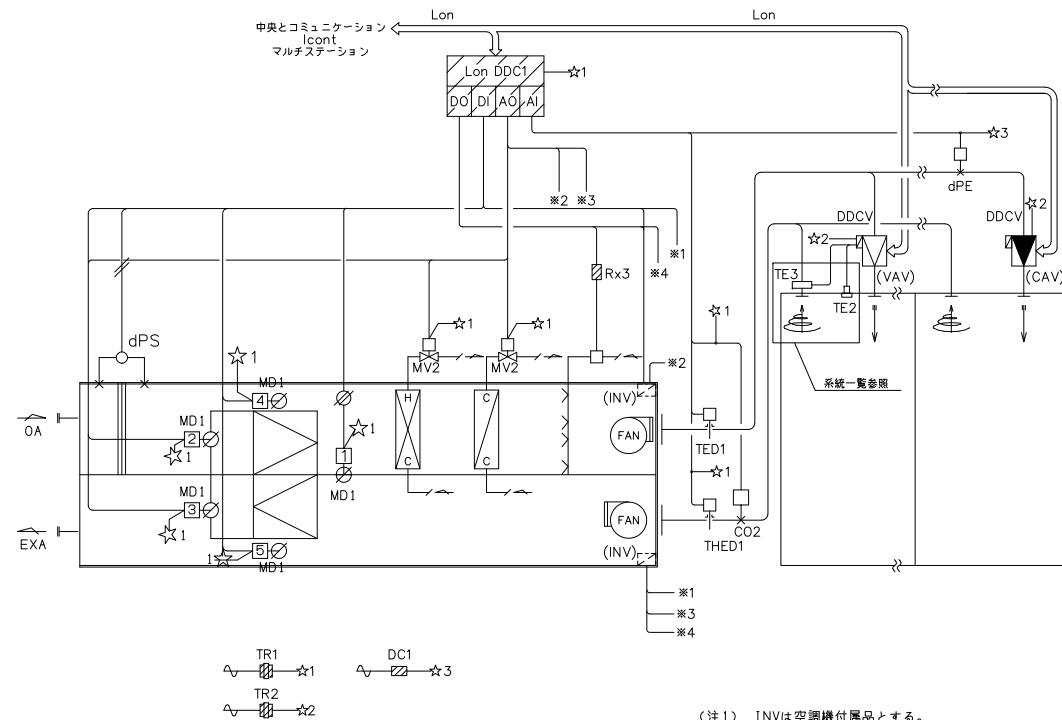
3) バイパス制御

- ・末端圧力によるバイパス制御を行う。



- ・バイパス弁制御はポンプ群停止時はPID制御をインターロックし、起動時は積分動作障害を防止する。

機器番号	系 統 名	種別（設置階）	センサー	DDCV台数	備考
AHU-2～9W-2	2～9階 西側インテリア	VAV（2～9階）	TE2	5	SA
AHU-2～9E-2	2～9階 東側インテリア	VAV（2～9階）	TE2	5	SA



(注1) INVは空調機付属品とする。
サブパネル（SCP）は自動制御より

※DDCV数は系統一覧を参照

制 御 概 要

- ### 1. <温度制御>

給気温度検出により設定温度と比較し、冷水、温水2方弁の比例制御を行う。

＜給気温度補正制御（ロードリセット）＞

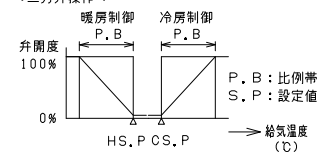
各VAVの制御状態(要求風量値、室内温度、室温設定値)を中央通信により取り込み、給気温度の補正を行う。

(補正例)

制御中の各VAVの最大風量と要求風量の比により給気温度設定を自動的に変更する。

いずれか一つのVAVの最大風量と要求風量との比が一定値に達したら給気温度設定を変更する。

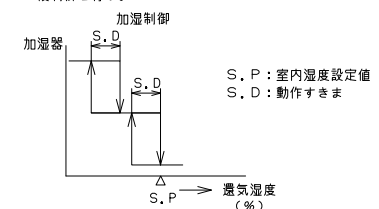
～二方弁操作～



- ## 2. <湿度制御>

通気湿度検出により室内設定湿度と比較し、気化式加湿器のON/OFF2段制御を行う。

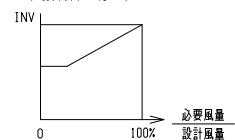
加



- ### 3. <FAN INV制御>

<給気風量制御>

・各VAVの要求風量値をLONWORKS通信にてAHUコントローラに取り込み、合計して空調機必要風量値を算出し、インバータによる給気ファン回転数制御を行う。



※ 赤枠はモデル建物の計算対象の設備を表す。

設計責任者 設計太郎 	Aビル新築工事	(空) (通し番号 15) 空 - 5
(大臣) 登録第000000号	自動制御御図(1)	No.

制 御 概 要

：続き

・各VAVよりのダンパー開度信号により、回転数補正を行う。

回転数補正	
	条 件
①	いずれか1つのVAVの開度 100% → FAN増速 但し、開信号の出ているVAVなしのときは、増速しない
②	①、③ 以外の場合 → FAN現状
③	すべてのVAVが開度85%以下 → FAN減速 但し、開信号の出ているVAVが1台でもあれば減速しない

FAN 増速・減速のスピードについては、開出力・閉出力の出ているVAVの台数により変化させる。

・末端圧補償
上記FAN減速時に、微差圧検出器の値が一定値以下の場合は減速しない。

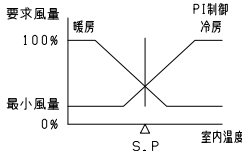
4. <VAV廻り制御>

VAV廻り

・TE2又はTE3にて室内温度を検出し、DDCVにて設定温度と比較して、その偏差により要求風量を算出し、VAV風量センサーよりの実風量との過不足風量を算出し、VAVダンパーモータに対し開または閉出力を行う。

（注記）

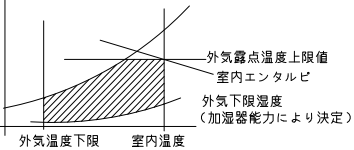
・温度設定は、イントラネット端末、又はRSにより行う。



5. <外気冷房制御>

① 外気冷房条件

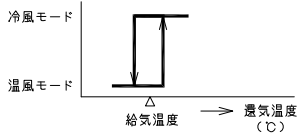
- ・外気エンタルピ<室内エンタルピ
- ・外気下限温度<外気温<室内温度
- ・外気露点温度<外気露点温度上限値
- ・外気湿度下限値<外気湿度



② 全熱交換器制御

全熱交換器自動切替制御	冷風モード時	温風モード時
外気エンタルピ<室内エンタルピ	パスモード	回収モード
外気エンタルピ>室内エンタルピ	回収モード	パスモード
外気温度<外気下限温度	回収モード	

（冷風ノ温風ノ判断）

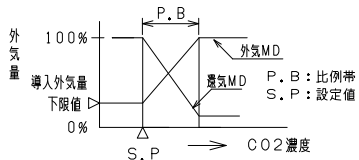


③ MD開度

	① RA	② OA	③ EA	④ OAパス	⑤ EAパス	備 考
空調時（CO2時）	比例	比例	比例	開	開	
外気冷房時	比例	開	開	比例	比例	
ウォーミングアップ時	開	開	開	開	開	

※外気MD及び排気MDの出力は、外気冷房制御出力とCO2制御出力との最大選択（選気MDは最小選択）になります。

6. <CO2制御>



MD開度	① RA	② OA	③ EA
空調時（CO2時）	比例	比例	比例
外気冷房時	比例	比例	比例
ウォーミングアップ時	開	開	開

最大選択（選気MDは最小選択）になります。

7. <予熱時外気取り入れ停止>

空調機起動後、一定時間全選気運転を行う。
（風量は室内温度条件による。）

8. <フィルター目詰まり警報監視>

微差圧スイッチにより、フィルター前後の差圧を検出し、目詰まり警報を出力する。

9. <インターロック>

空調機停止時、全制御機器の停止（閉）を行う。

10. <給気温度リミット制御>

給気温度検出器により冷房時の結露防止及び暖房時のドラフト防止を行う。

11. <空調、照明、ブラインド協調制御>

Icontよりの指令による。

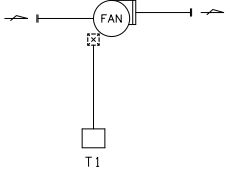
12. <中央監視との通信>

空調機、VAVの発停状態、温度、湿度の計測値、設定値、フィルター目詰まり警報

5Fのみ別途コミッショニング用ポイント有：

外気風量、選気風量、弁開度、ダンパ開度、INV周波数、加温器段数、VAVトータル要求風量、静圧過不足信号、ダクト内静圧、流量（冷・温）、往還温度（冷・温）、外気エンタルピ、選気エンタルピ、外冷有効信号、室内処理熱量

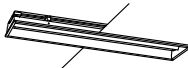
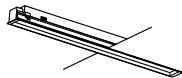
ELV機械室



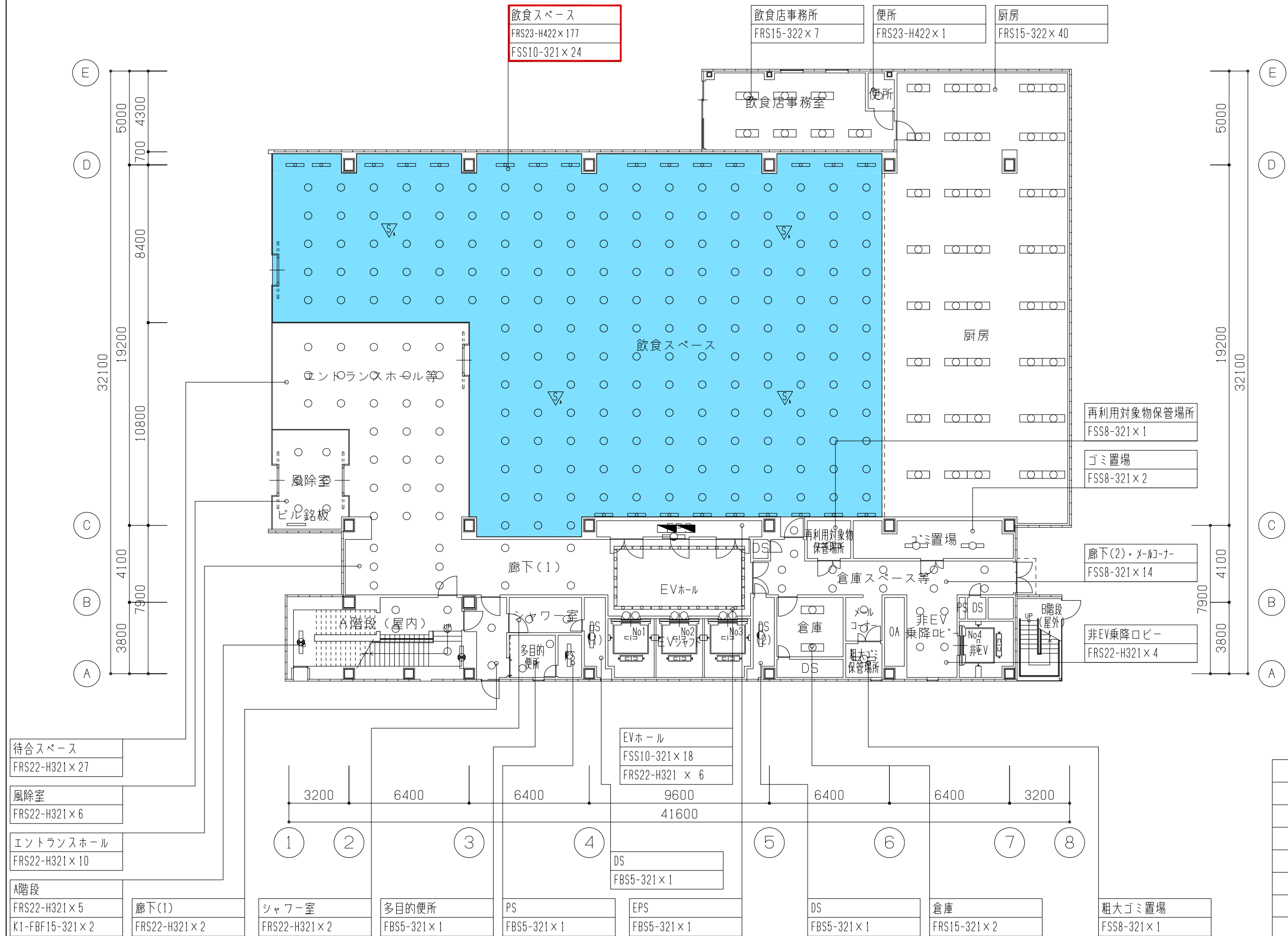
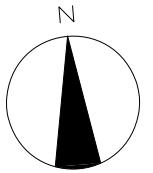
制 御 内 容

1. 室内温度制御を行う。

※ 赤枠はモデル建物の計算対象の設備を表す。

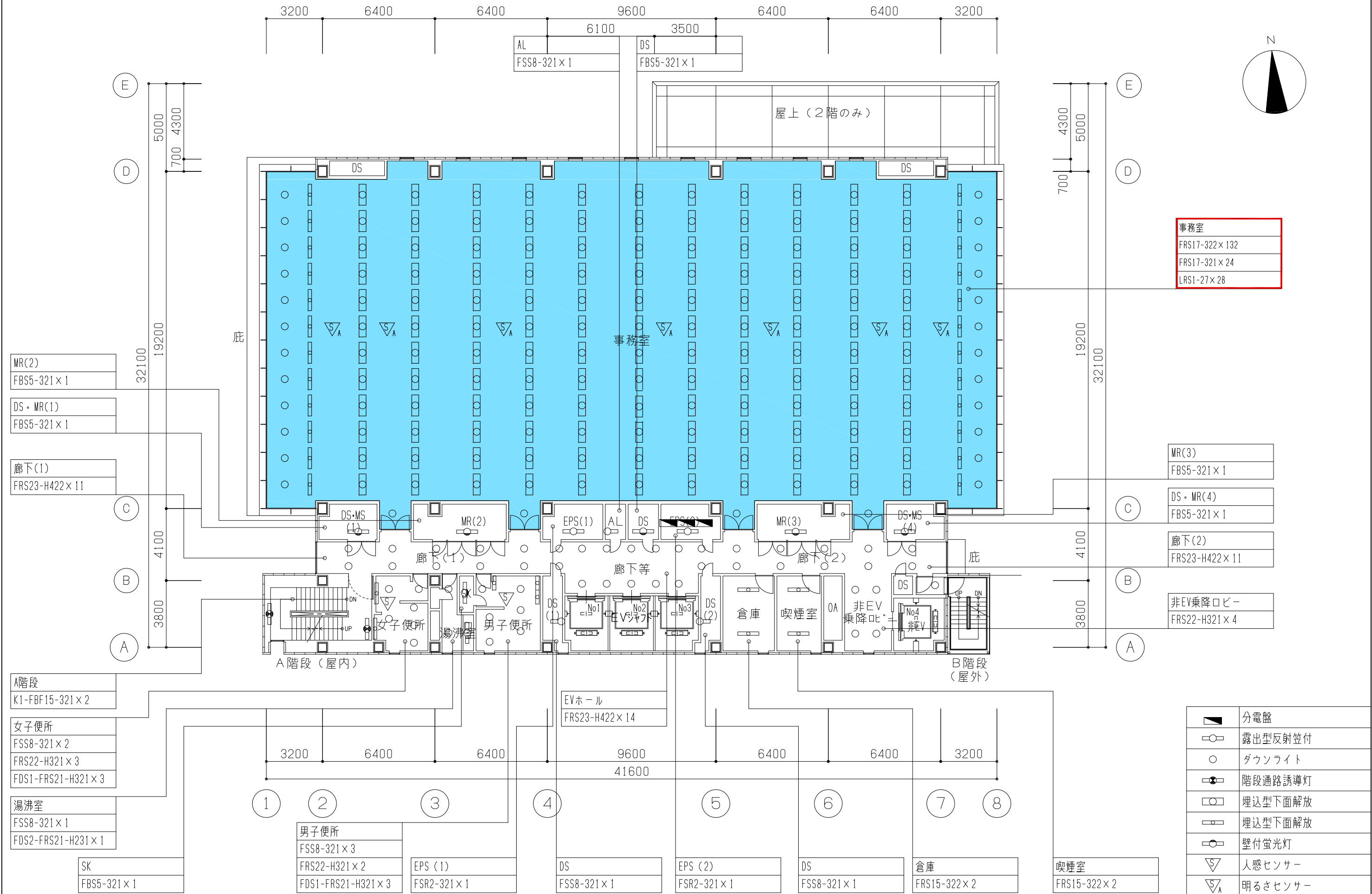
1	照明器具姿図																				—																												
FR		埋込形下面開放				（補）	FR		埋込形下面開放				（補）	FR		埋込形下面開放（システム天井器具）				（補）	FR		埋込形下面開放（システム天井器具）				（補）	FS		反射笠付				（補）	FR		ダウンライト				（補）	DR		LEDダウンライト				（補）	
FRS15-321		Hf-32W×1灯用		36W			FRS15-322		Hf-32W×2灯用		71W			FRS17-321		Hf-32W×1灯用		36W			FRS17-322		Hf-32W×2灯用		95W			FSR2-321		Hf-32W×1灯用		36W			FRS22-H321		FHT-32W×1灯用		35W			LRS1-27		LED-27W×1		27W			
																																																	
												電子安定器						(2F～9F事務室)																															
												<事務所>						<事務所>																		<事務所>													
K		階段通路誘導灯				（補）	FB		片反射笠付				（補）	FS		トラフ形（建築化照明）				（補）	FR		ダウンライト				（補）	FS		トラフ形				（補）	FR		ダウンライト				（補）								
K1-FBF15-321		Hf-32W×1灯用		36W			FBS5-321		Hf-32W×1灯用		36W			FSS10-321		Hf-32W×1灯用		36W			FDS1-FRS21-H321		FHT-32W×1灯用		36W			FSS8-321		Hf-32W×1灯用		36W			FRS23-H422		FHT-42W×2灯用		95W										
																																																	
																		人感センサー付																		(飲食店)													
												<飲食店>																		<飲食店>																			

2	照明制御図		—	
<制御機能> (1) 照度調整調光制御 明るさセンサーによる調光によって、机上面の照度を調光する制御を行うこと。 【対象室】 2～9F事務室 (2) タイムスケジュール制御 予め設定した運転スケジュールに従って、自動的にON-OFF制御を行うこととする。 スケジュールデータはグループもしくはパターン毎に設定及び変更が可能とする。 【対象室】 2～9F事務室 (3) タイムスケジュール制御(減光) 予め設定した運転スケジュールに従って、自動的に減光制御を行うこととする。 スケジュールデータはグループもしくはパターン毎に設定及び変更が可能とする。 【対象室】 1階 飲食店(レストラン) (4) 在室検知制御 人感センサーによる在室検知を行い、自動的にON-OFF制御を行うこととする。 【対象室】 2～9F便所 (5) 初期照度補正制御 タイマーを用いた点灯時間による光源の光束低下を見込んだ調光制御を行うこととする。 【対象室】 1階 飲食店(レストラン)、2～9F事務室 (6) 自動点灯制御 明るさセンサーで検知して、自動的に照明を消灯する制御を行うものとする。 【対象室】 2～9F事務室				
照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の試験方法による。 ※のついた消費電力は、日本照明器具工業会のガイド114に記載された照明器具の消費電力を表す。 赤枠はモデル建物の計算対象の設備を表す。			設計責任者 設計太郎 印 (大印)登録第000000号 Aビル新築工事 照明器具姿図・照明制御図	電 (通し番号 17) 電 - 1 No.

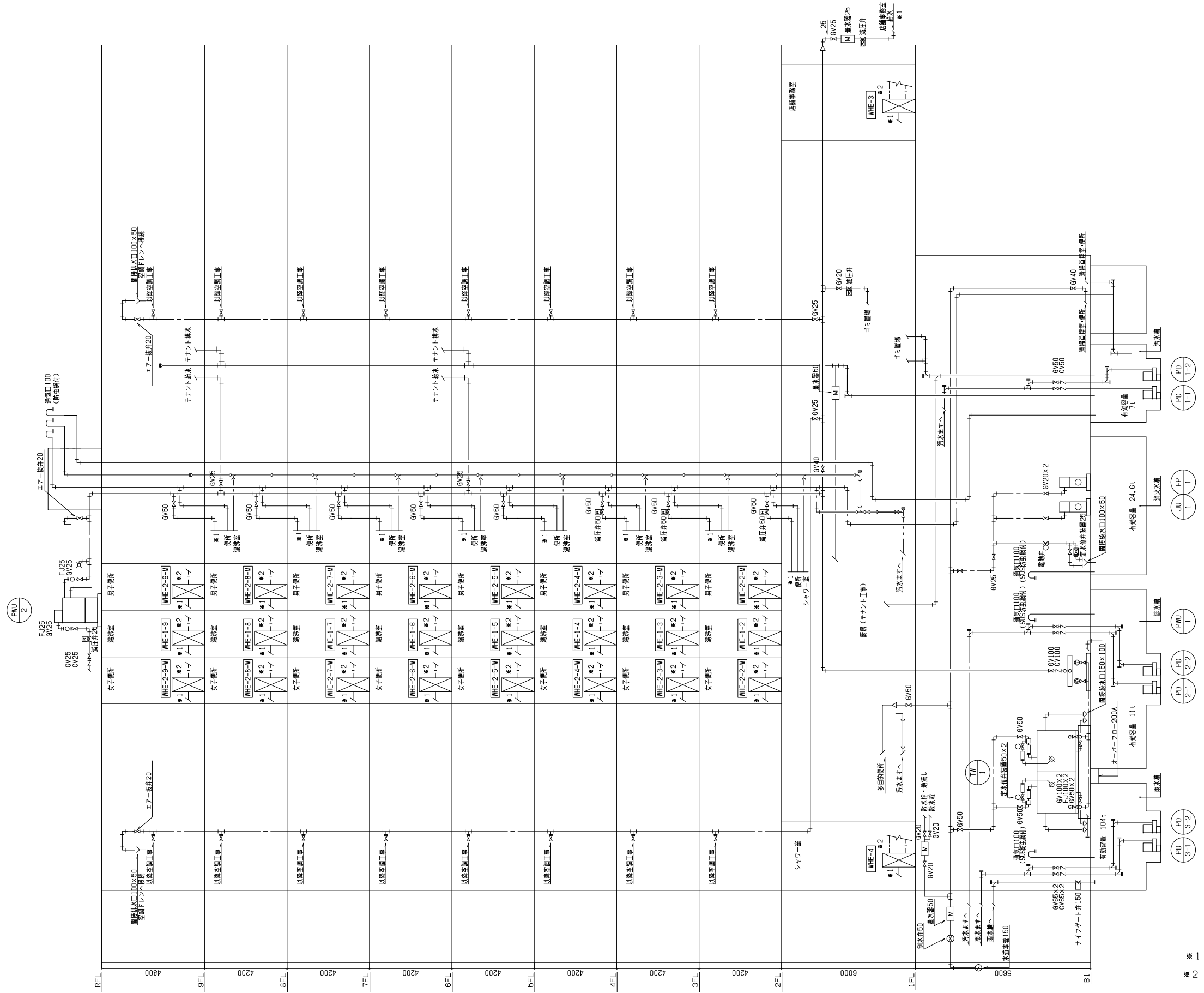


■ は省エネ計算対象範囲を示す。

	分電盤
	露出型反射笠付
	ダウンライト
	階段通路誘導灯
	埋込型下面解放
	埋込型下面解放
	壁付蛍光灯
	明るさセンサー



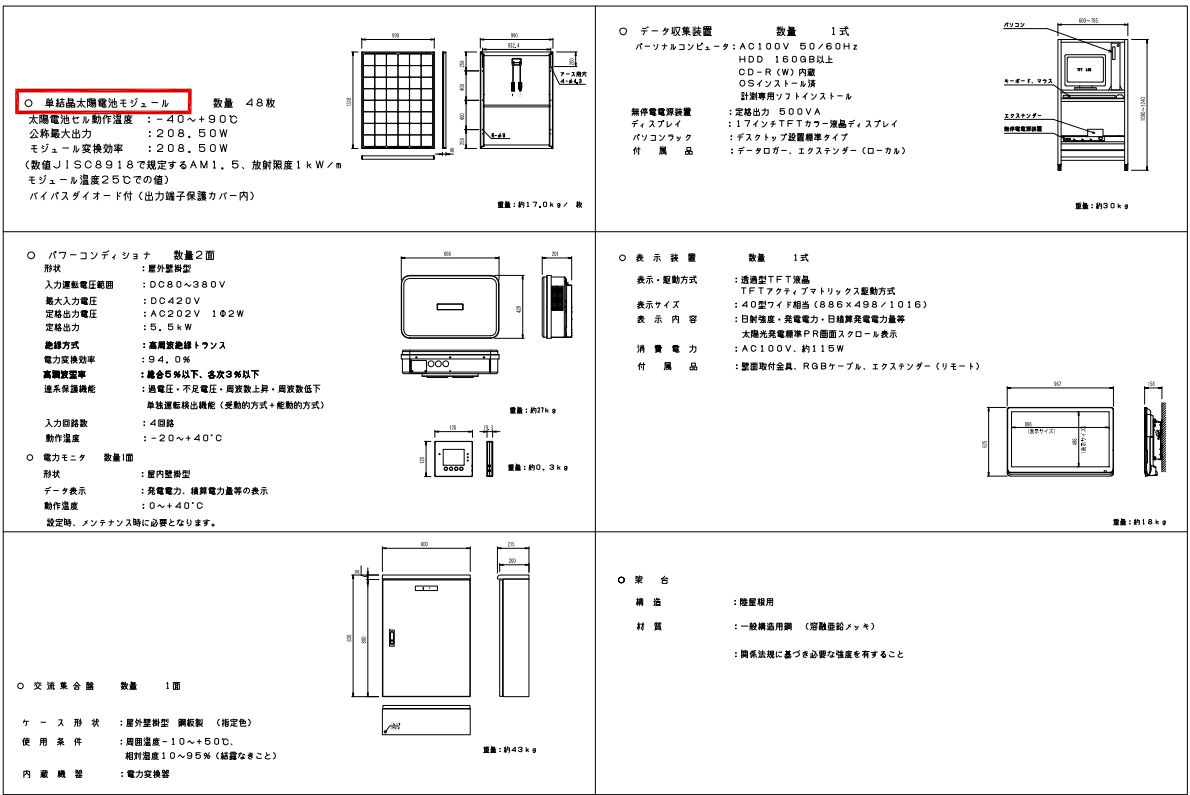
は省エネ計算対象範囲を示す。



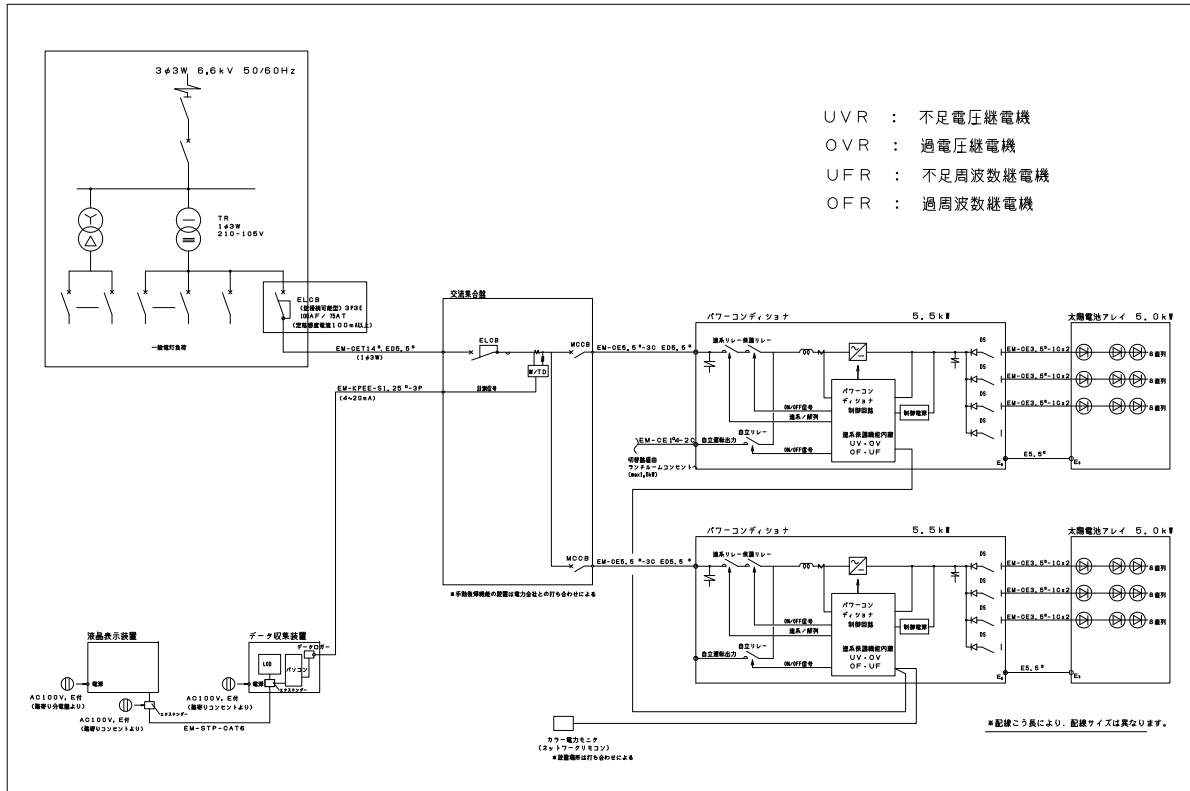
図面詳細図参照。図1。
図面詳細図参照。図2。

システム概要	設備の概要
	発電設備の種類 : 太陽電池発電設備
	設備容量 : 太陽電池容量 10kW相当 JIS C 8990 の試験方法による インバータ容量 単相3線10kW
	連系する電力系統 : 高圧一般配電線 (単相3線、6、6kV)
	システム構成
	本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池用架台、パワーコンディショナ（接続箱機能付インバータ）、及びデータ収集装置等により構成される。
	太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、パワーコンディショナで集電される。インバータは、この直流電力を並列した商用電源と電圧、周波数、位相の同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給する。また、インバータ及び系統の異常時には連系を遮断するものとする。
	本システムで得られた電力は電力会社への売電には使用しない。
一 般 事 項	
	(2) 労働安全衛生法 (7) 日本工業規格 (JIS)
	(3) 電気事業法 (8) 日本電機工業会標準規格 (JEM)
	(4) 電気設備技術基準 (9) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)
	(5) 消防関係法規 (10) 日本電機工業会規格 (JCS)
	(11) 電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン (平成16年10月1日改訂) 及び系統連系規格 (JEA C 9701-2010)
	2. 稼取後1年以内に、設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不具合が生じた場合は、速やかにこれを無償で修理、または、良品と交換するものとする。
	なお、上記保証期間を超過した後に、機器製作不良等工事者の責に帰すると判断される原因により事故が生じた場合、その修理・取替に要する費用について、協議の上決定するものとする。
工 事 総 目	1. 機器据付工事
	(1) 太陽電池組立取付工事
	(2) 納入機器取付工事
	(3) 分電盤までの配線配管工事 (但し屋内配管工事は除く)
	(4) 計測信号線配線工事 (但し屋内配管工事は除く)
設 置 形 態	(1) パネル設置方位角: 0度 (南)
	(2) パネル傾斜角: 30度
	(3) 設置場所: 屋上

試運転・完成検査								
試運転・完成検査項目	太陽電池 モジュール	酸欠	パワー コンディショナ	配線ケーブル	計測 システム			
(1) 外観検査	○	○	○	○ 現場検査のみ	○			
(2) 絶縁抵抗測定	○	○ 工場検査のみ	○ 工場検査のみ	○ 現場検査のみ	-			
(3) 絶縁耐圧測定	○ 工場検査のみ	○ 工場検査のみ	○ 工場検査のみ	-	-			
(4) 保護装置特性	-	-	○ 工場検査のみ	-	-			
(5) システム動作	-	-	○ 現場検査のみ	-	○ 現場検査のみ			

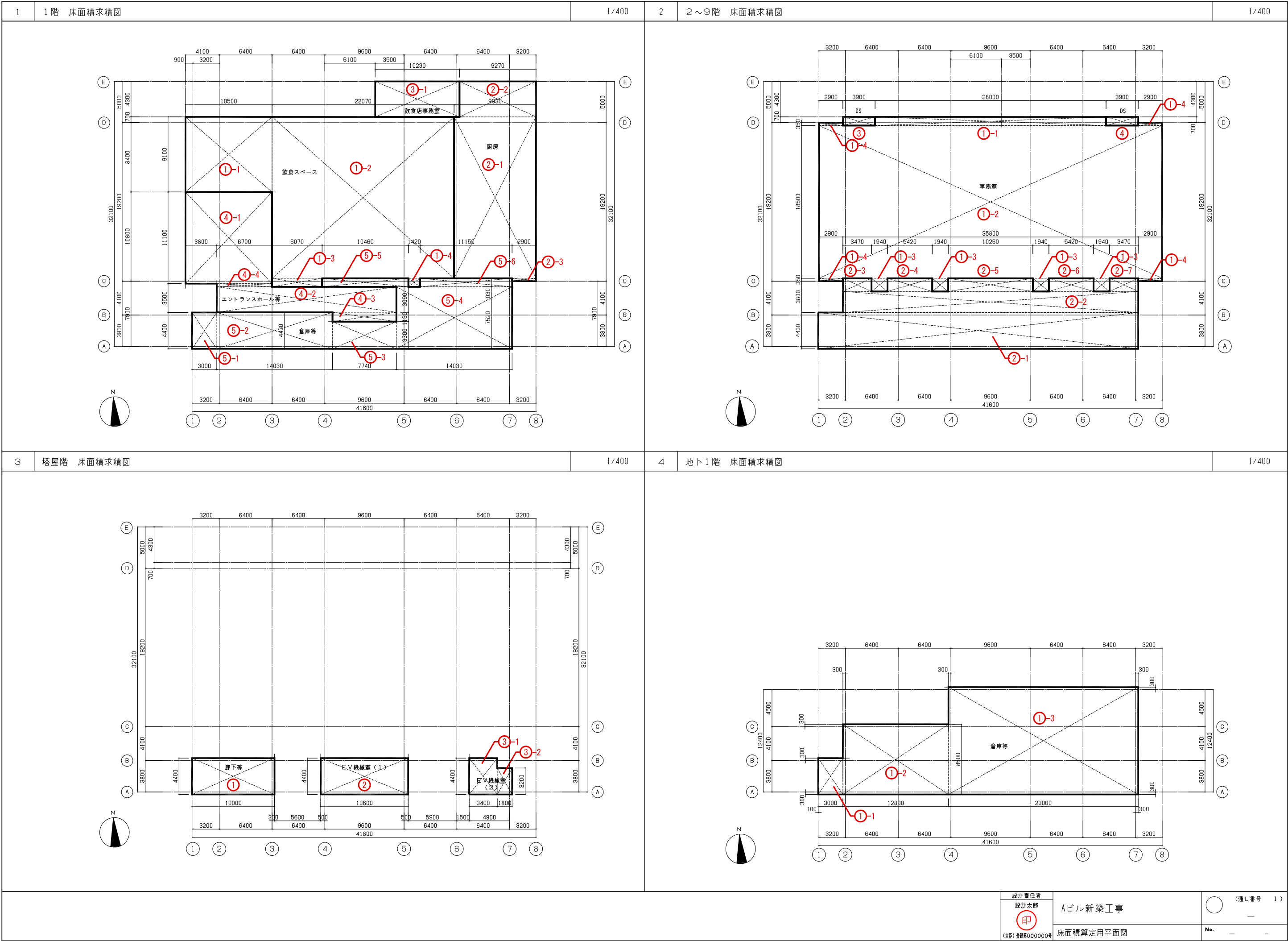


※寸法・重量は参考とする。



单線結線区

電 (通し番号 23)
太 - 1
No.



階	計算対象床面積(m ²)		空調対象床面積(m ²)		換気対象床面積(m ²)		照明対象床面積(m ²)	
	事務所	飲食店	事務所	飲食店	厨 房	駐車場	事務所	飲食店
PH	111.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
8	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
7	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
6	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
5	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
4	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
3	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
2	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
1	423.77	813.73	195.11	578.72	235.01	0.00	0.00	534.73
B1	421.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	10000.45	813.73	6718.92	578.72	235.01	0.00	6523.81	534.73



床面積算定根拠

【B1F】床面積

部位		A (m)	B (m)	A×B (㎡)	倍 数	合計 (㎡)	計算対象床面積(㎡)	
							事務所	飲食店
						421.00	421.00	0.00
① 倉庫等	1	4.400	3.000	13.20	1	421.00	○	
	2	8.500	12.800	108.80	1			
	3	13.000	23.000	299.00	1			

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。

【1F】床面積

部位		A (m)	B (m)	A×B (㎡)	倍 数	合計 (㎡)	計算対象床面積(㎡)		空調対象床面積(㎡)		換気対象床面積(㎡)		照明対象床面積(㎡)	
							事務所	飲食店	事務所	飲食店	厨 房	駐 車 場	事務所	飲食店
						1237.50	423.77	813.73	195.11	578.72	235.01	0.00	0.00	534.73
① 飲食スペース	1	9.100	10.500	95.55	1	534.73		○		○				○
	2	19.550	22.070	431.47	1									
	3	1.030	6.070	6.25	1									
	4	1.030	1.420	1.46	1									
② 厨房	1	19.550	9.930	194.13	1	235.01		○			○			
	2	4.300	9.270	39.86	1									
	3	0.350	2.900	1.02	1									
③ 飲食店事務室	1	4.300	10.230	43.99	1	43.99		○		○				
④ エントランスホール等	1	11.100	10.500	116.55	1	195.11	○		○					
	2	3.090	21.770	67.27	1									
	3	1.130	7.740	8.75	1									
	4	0.380	6.700	2.55	1									
⑤ 倉庫等	1	4.400	3.000	13.20	1	228.66	○							
	2	4.430	14.030	62.15	1									
	3	3.300	7.740	25.54	1									
	4	7.520	14.030	105.51	1									
	5	1.030	10.460	10.77	1									
	6	1.030	11.150	11.48	1									

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。

【2～9F】床面積

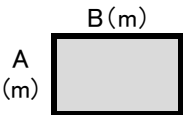
部位		A (m)	B (m)	A×B (㎡)	倍 数	合計 (㎡)	計算対象床面積(㎡)		空調対象床面積(㎡)		換気対象床面積(㎡)		照明対象床面積(㎡)	
							事務所	飲食店	事務所	飲食店	厨 房	駐 車 場	事務所	飲食店
						1130.54	1130.54	0.00	815.48	0.00	0.00	0.00	815.48	0.00
① 事務室	1	1.050	28.000	29.40	1	815.48	○		○				○	
	2	18.500	41.600	769.60	1									
	3	1.600	1.940	3.10	4									
	4	2.900	0.350	1.02	4									
② 廊下等	1	4.400	38.800	170.72	1	306.87	○							
	2	2.550	35.800	91.29	1									
	3	1.600	3.470	5.55	1									
	4	1.600	5.420	8.67	1									
	5	1.600	10.260	16.42	1									
	6	1.600	5.420	8.67	1									
	7	1.600	3.470	5.55	1									
③ DS	1	1.050	3.900	4.10	1	4.10	○							
④ DS	1	1.050	3.900	4.10	1	4.10	○							

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。

【PHF】床面積

部位		A (m)	B (m)	A×B (㎡)	倍 数	合計 (㎡)	計算対象床面積(㎡)	
							事務所	飲食店
						111.36	111.36	0.00
① 廊下等	1	4.400	10.000	44.00	1	44.00	○	
② EV機械室(1)	1	4.400	10.600	46.64	1	46.64	○	
③ EV機械室(2)	1	4.400	3.400	14.96	1	20.72	○	
	2	3.200	1.800	5.76	1			

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。



設計責任者

設計太郎

印

(大臣)登録第〇〇〇〇〇〇号

(別紙) 外皮面積算定表

方位	断熱材1		断熱材2		断熱材3		無断熱	
	事務所	飲食店	事務所	飲食店	事務所	飲食店	事務所	飲食店
北	1321.68	255.00	194.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
南	1556.76	17.40	194.88	0.00	0.00	0.00	2.52	0.00
西	346.44	25.80	711.72	54.60	0.00	0.00	0.00	0.00
東	324.84	145.20	645.12	0.00	0.00	0.00	23.40	0.00
屋根	0.00	0.00	0.00	0.00	1063.18	86.09	67.36	0.00
床	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	3549.72	443.40	1746.60	54.60	1063.18	86.09	93.28	0.00

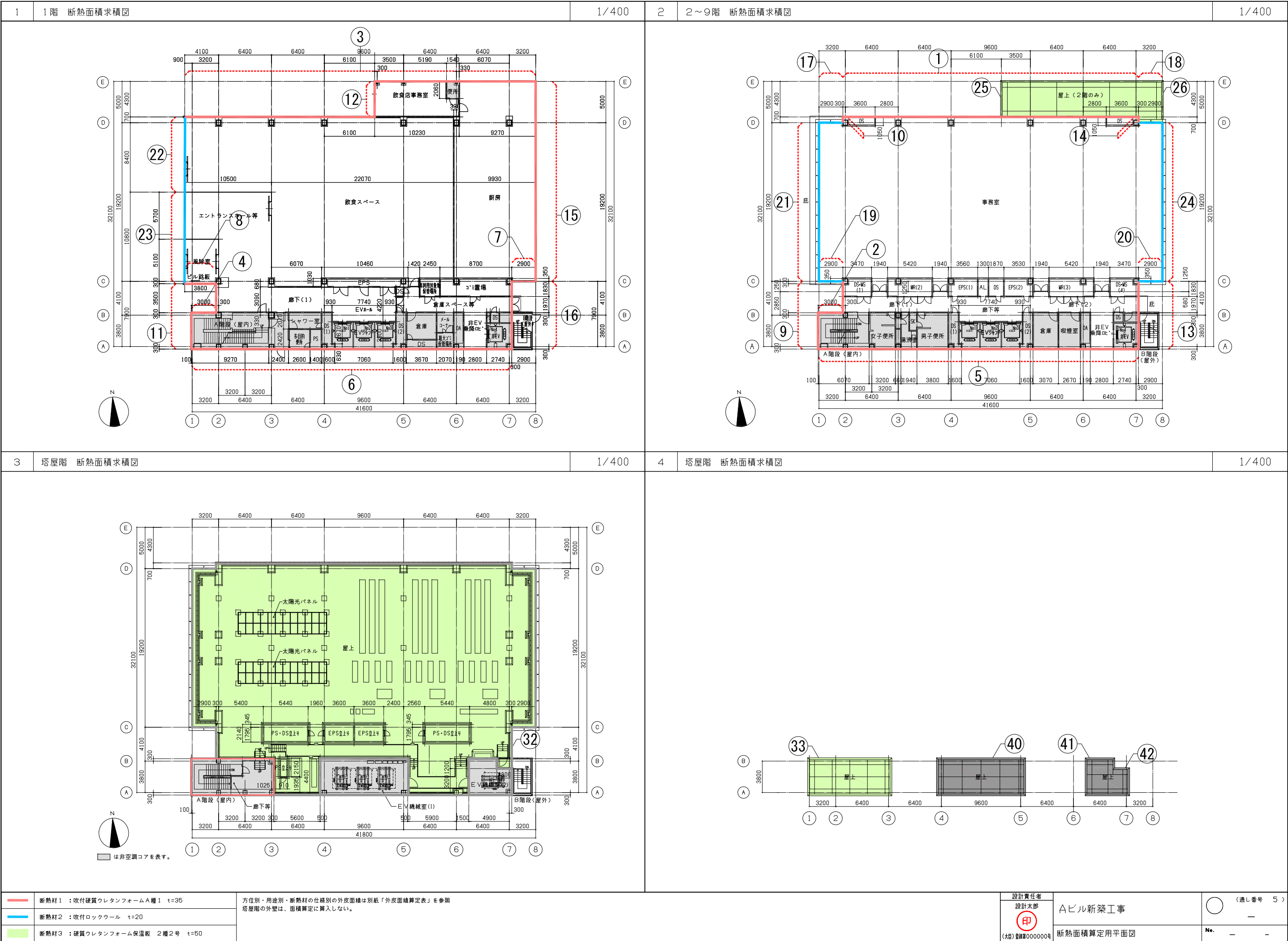
共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。

断熱材1 吹付け硬質ウレタンフォームA種1 t=35

断熱材2 吹付けロックウール t=20

断熱材3 硬質ウレタンフォーム保温板2種2号 t=50





【北面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		1321.68	255.00	
2～9F	4.2	1	4.200	35.800	150.36	8	○		
	4.2	2	4.200	3.000	12.60	8	○		凹部分(西)
1F	6.0	3	6.000	42.500	255.00	1		○	
	6.0	4	6.000	3.000	18.00	1	○		凹部分(西)

【南面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		1556.76	17.40	
2～9F	4.2	5	4.200	38.800	162.96	8	○		
1F			2.100	1.200	▲ 2.52	1	○		SD-2 無断熱
	6.0	6	6.000	38.800	232.80	1	○		
	6.0	7	6.000	2.900	17.40	1		○	
	6.0	8	6.000	3.800	22.80	1	○		

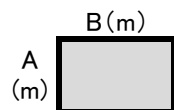
【西面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		346.44	25.80	
2～9F	4.2	9	4.200	8.200	34.44	8	○		
	4.2	10	4.200	0.700	2.94	8	○		
1F	6.0	11	6.000	7.900	47.40	1	○		
	6.0	12	6.000	4.300	25.80	1		○	

【東面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		324.84	145.20	
2～9F			2.600	0.900	▲ 2.34	8	○		SD-3 無断熱
	4.2	13	4.200	8.200	34.44	8	○		
	4.2	14	4.200	0.700	2.94	8	○		
1F			2.600	1.800	▲ 4.68	1	○		SD-1 無断熱
	6.0	15	6.000	24.200	145.20	1		○	
	6.0	16	6.000	8.200	49.20	1	○		

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。



【北面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(㎡)			倍数	用途別面積(㎡)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		194.88	0.00	
2～9F	4.2	17	4.200	2.900	12.18	8	○		
	4.2	18	4.200	2.900	12.18	8	○		

【南面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(㎡)			倍数	用途別面積(㎡)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		194.88	0.00	
2～9F	4.2	19	4.200	2.900	12.18	8	○		
	4.2	20	4.200	2.900	12.18	8	○		

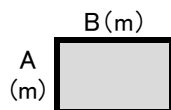
【西面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(㎡)			倍数	用途別面積(㎡)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		711.72	54.60	
2～9F	4.2	21	4.200	19.200	80.64	8	○		
1F	6.0	22	6.000	9.100	54.60	1		○	
	6.0	23	6.000	11.100	66.60	1	○		

【東面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(㎡)			倍数	用途別面積(㎡)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		645.12	0.00	
2～9F	4.2	24	4.200	19.200	80.64	8	○		

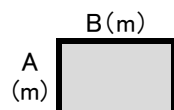
共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。



【屋根】断熱材面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		1063.18	86.09	
2F	-	25	4.300	16.300	70.09	1		○	
		26	5.000	3.200	16.00	1		○	
RF	-	27	19.200	2.900	55.68	1	○		
		28	23.700	35.800	848.46	1	○		
		29	19.200	2.900	55.68	1	○		
		30	4.400	5.600	24.64	1	○		
		31	4.400	7.400	32.56	1	○		
		32	1.200	1.800	2.16	1	○		
PHF	-	33	4.400	10.000	44.00	1	○		

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。



断熱材面積算定根拠 無断熱

【北面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		0.00	0.00	

【南面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		2.52	0.00	
1F			2.100	1.200	2.52	1	○		SD-2

【西面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		0.00	0.00	

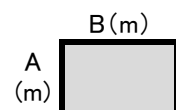
【東面】断熱材(外壁)面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		23.40	0.00	
1F			2.600	1.800	4.68	1	○		SD-1
2～9F			2.600	0.900	2.34	8	○		SD-3

【屋根】断熱材面積

階	階高 (m)	部位	断熱材面積(m ²)			倍数	用途別面積(m ²)		備考
			A	B	小計		事務所	飲食店	
			(m)	(m)	A×B		67.36	0.00	
RF	-	40	4.400	10.600	46.64	1	○		
		41	4.400	3.400	14.96	1	○		
		42	3.200	1.800	5.76	1	○		

共用部分の面積は、主たる用途である事務所に含める。



モデル建物法入力支援ツール
計算書



モデル建物法複数用途集計ツール(平成28年省エネ基準用)による計算結果

1. 計算結果

建築物の名称	Aビル新築工事(事務所部分) + Aビル新築工事(飲食店部分)										
地域区分	6										
モデル建物	事務所モデル + 飲食店モデル										
集計結果	計算対象床面積[m ²]	既存部分の床面積[m ²]	BPI _m	BEI _m	AC	V	L	HW	EV	PV	
	10814.18	0.00	0.84	0.94	0.84	1.17	1.02	1.89	0.89	あり	

2. 内訳

モデル建物	計算対象床面積[m ²]	BPI _m	BEI _m						
				AC	V	L	HW	EV	PV
事務所モデル	10000.45	0.82	0.91	0.85	1.71	0.96	1.89	0.89	あり
飲食店モデル	813.73	1.00	1.03	0.82	1.02	1.45	－	－	－

モデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)による計算結果

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称		Aビル新築工事(事務所部分)			
(2) 床面積		10,000.45	XML ID/再出力コード		
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分		6地域 / A3区分	a05d478b-0a76-43de		
(4) モデル建物		事務所モデル	ZIS*-UHYX-SRSQ-IBLQ		
(5) 評価結果					
年間熱負荷係数		【BPI _m 】	0.82		
一次エネルギー消費量		【BEI _m 】	0.91		
空気調和設備		【BEI _m /AC】	0.85		
機械換気設備		【BEI _m /V】	1.71		
照明設備		【BEI _m /L】	0.96		
給湯設備		【BEI _m /HW】	1.89		
昇降機		【BEI _m /EV】	0.89		
太陽光発電			あり		
(6) 判定	BPI _m ≤ 1.00		達成	BEI _m ≤ 1.00	達成

2. 当該建築物の仕様

(1) 外皮の仕様

外皮項目	外皮の仕様	
A.建設計画	階数 / 階高の合計	9階 / 39.6m
	非空調コア部の方位	南
	建物の外周長さ	145.4m (そのうち、非空調コア部長さ 47.8m)
B.外壁仕様	外壁面積	北側 1,194.00m ² 東側 402.96m ² 南側 1,455.84m ² 西側 417.62m ² 屋根 1,130.54m ² 外気に接する床 0.00m ²
	平均熱貫流率	外壁 0.72W/(m ² K) 屋根 0.51W/(m ² K) 外気に接する床 0.00W/(m ² K)
C.窓仕様	窓面積	北側 322.56m ² 東側 590.40m ² 南側 298.32m ² 西側 640.54m ² 屋根面 0.00m ²
	平均熱貫流率	外壁 3.13W/(m ² K) 屋根面 -
	平均日射熱取得率	外壁 0.292 屋根面 -

(2) 空気調和設備の仕様

設備項目	設備の仕様	
A.熱源	熱源機種(冷房)	ウォータチリングユニット(空冷式)
	個別熱源比率(冷房)	0%
	熱源容量(冷房)	92.87W/m ²
	熱源効率(冷房)※	1.11
	熱源機種(暖房)	ウォータチリングユニット(空冷式)
	個別熱源比率(暖房)	0%
	熱源容量(暖房)	125.91W/m ²
	熱源効率(暖房)※	1.11
B.外気処理	全熱交換器	有、全熱交換効率:60%以上65%未満、自動換気切替機能:有
	外気取り入れ停止	有
C.搬送制御	二次ポンプ	有
	空調機	有

※一次エネルギー換算値

(3) 機械換気設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.機械室	換気方式	第二種または第三種換気
	電動機出力	単位送風量あたりの電動機出力 0.38 W/(m ³ /h)
	高効率電動機	有
	送風量制御	有
	計算対象床面積	－
B.便所	換気方式	第二種または第三種換気
	電動機出力	単位送風量あたりの電動機出力 0.44 W/(m ³ /h)
	高効率電動機	有
	送風量制御	無
	計算対象床面積	－
C.駐車場	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	
D.厨房	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	

(4) 照明設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.事務室	床面積あたりの消費電力	17.36 W/m ²
	制御	在室検知制御:無、明るさ検知制御:有 タイムスケジュール制御:有、初期照度補正機能:有
	床面積あたりの消費電力	
	制御	
	床面積あたりの消費電力	
	制御	

(5) 給湯設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.洗面・手洗い	熱源効率	0.37
	配管保温仕様	保温仕様1
	節湯器具	無
B.浴室	熱源効率	0.37
	配管保温仕様	保温仕様1
	節湯器具	節湯B1
C.厨房	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	

(6) 昇降機の仕様

設備項目		設備の仕様
A.制御方式	速度制御方式	可変電圧可変周波数制御方式(回生あり)

(7) 太陽光発電設備の仕様

設備項目		設備の仕様
A.パネル	面数	1
B.パネル1	アレイシステム容量	10.00 kW
	アレイの種類	結晶系太陽電池
	アレイの設置方式	屋根置き形
	アレイの設置方位角	真南から東および西へ15度未満
	アレイの設置傾斜角	30度
C.パネル2	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
D.パネル3	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
E.パネル4	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	

入力シートによる入力内容の一覧

1. アップロードされた入力シート

■ 様式A 基本情報入力シート ■ 様式B-1 開口部仕様入力シート ■ 様式B-3 外皮仕様入力シート ■ 様式C-1 空調熱源入力シート ■ 様式C-3 空調二次ポンプ入力シート ■ 様式D 換気入力シート ■ 様式F 給湯入力シート ■ 様式H 太陽光発電入力シート	■ 様式B-2 断熱仕様入力シート ■ 様式C-2 空調外気処理入力シート ■ 様式C-4 空調送風機入力シート ■ 様式E 照明入力シート ■ 様式G 昇降機入力シート
---	---

2. 入力シートによる入力項目

基本情報	C1	建物名称	Aビル新築工事(事務所部分)	空調	AC13	全熱交換器の有無	有
	C2	地域区分	6地域		AC14	全熱交換効率	60%以上65%未満
	C3	適用するモデル建物	事務所モデル		AC15	自動換気切替機能	有
	C4	計算対象室用途			AC16	予熱時外気取入れ停止の有無	有
	C5	計算対象面積	10000.45 [m ²]		AC17	二次ポンプの変流量制御	有
建物形状 外皮性能	PAL1	階数	9階	機械室 換気 駐車場 厨房	AC18	空調機の変風量制御	有
	PAL2	各階の階高の合計	39.6 [m]		V0	機械換気設備の評価	評価する
	PAL3	建物の外周長さ	145.4 [m]		V1	機械換気設備の有無	有
	PAL4	非空調コア部の外周長さ	47.8 [m]		V2	換気方式	第二種または第三種換気方式
	PAL5	非空調コア部の方位	南		V3	電動機出力の入力方法	単位送風量あたりの電動機出力を入力する
	PAL6	外壁面積-北	1194.00 [m ²]		V4	単位送風量あたりの電動機出力	0.38 [W/(m ³ /h)]
	PAL7	外壁面積-東	402.96 [m ²]		V5	高効率電動機の有無	有
	PAL8	外壁面積-南	1455.84 [m ²]		V6	送風量制御の有無	有
	PAL9	外壁面積-西	417.62 [m ²]		V7	計算対象床面積	0.00 [m ²]
	PAL10	屋根面積	1130.54 [m ²]		V1	機械換気設備の有無	有
	PAL11	床面積	0.00 [m ²]		V2	換気方式	第二種または第三種換気方式
	PAL12	外壁の平均熱貫流率	0.72 [W/m ² K]		V3	電動機出力の入力方法	単位送風量あたりの電動機出力を入力する
	PAL13	屋根の平均熱貫流率	0.51 [W/m ² K]		V4	単位送風量あたりの電動機出力	0.44 [W/(m ³ /h)]
	PAL14	床の平均熱貫流率	0.00 [W/m ² K]		V5	高効率電動機の有無	有
	PAL15	窓面積-外壁面(北)	322.56 [m ²]		V6	送風量制御の有無	無
	PAL16	窓面積-外壁面(東)	590.40 [m ²]		V7	計算対象床面積	0.00 [m ²]
	PAL17	窓面積-外壁面(南)	298.32 [m ²]		V1	機械換気設備の有無	無
	PAL18	窓面積-外壁面(西)	640.54 [m ²]		V2	換気方式	
	PAL19	窓面積-屋根面	0.00 [m ²]		V3	電動機出力の入力方法	
	PAL20	窓の平均熱貫流率(壁)	3.13 [W/m ² K]		V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	PAL21	窓の平均日射熱取得率(壁)	0.29		V5	高効率電動機の有無	
	PAL22	窓の平均熱貫流率(屋根)	0.00 [W/m ² K]		V6	送風量制御の有無	
	PAL23	窓の平均日射熱取得率(屋根)	0.00		V7	計算対象床面積	
空調熱源	AC0	空気調和設備の評価	評価する	厨房	V1	機械換気設備の有無	無
	AC1	主たる熱源機種(冷房)	ウォータチリングユニット(空冷式)		V2	換気方式	
	AC2	個別熱源比率(冷房)	0 [%]		V3	電動機出力の入力方法	
	AC3	熱源容量(冷房)の入力方法	数値を入力する		V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	AC4	床面積あたりの熱源容量(冷房)	93 [W/m ²]		V5	高効率電動機の有無	
	AC5	熱源効率(冷房)の入力方法	数値を入力する		V6	送風量制御の有無	
	AC6	熱源効率(冷房)	1.11		V7	計算対象床面積	
	AC7	主たる熱源機種(暖房)	ウォータチリングユニット(空冷式)				
	AC8	個別熱源比率(暖房)	0 [%]				
	AC9	熱源容量(暖房)の入力方法	数値を入力する				
	AC10	床面積あたりの熱源容量(暖房)	125.91 [W/m ²]				
	AC11	熱源効率(暖房)の入力方法	数値を入力する				
	AC12	熱源効率(暖房)	1.11				

2. 入力シートによる入力項目(続き)

照明	事務室	L0	照明設備の評価	評価する	昇降機	EV1	昇降機の有無	有
		L1	照明設備の有無	有		EV2	速度制御方式	可変電圧可変周波数制御方式(回生あり)
		L2	消費電力の入力方法	数値を入力する	太陽光発電	PV1	設備の有無	有
		L3	消費電力	17.36 [W/m ²]		PV2	年間日射地域区分	A3区分(年間の日射量が中程度の地域)
		L4	在室検知制御	無		PV3	方位の異なるパネルの数	1面
		L5	明るさ検知制御	有		PV4	システムの容量	10.00 [kW]
		L6	タイムスケジュール制御	有		PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		L7	初期照度補正機能	有		PV6	アレイの設置方式	屋根置き形
	照明	L1	照明設備の有無			PV7	設置方位角	0度(南)
		L2	消費電力の入力方法			PV8	設置傾斜角	30度
		L3	消費電力		太陽光発電	PV4	システムの容量	0.00 [kW]
		L4	在室検知制御			PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		L5	明るさ検知制御			PV6	アレイの設置方式	下記に掲げるもの以外
		L6	タイムスケジュール制御			PV7	設置方位角	0度(南)
		L7	初期照度補正機能			PV8	設置傾斜角	0度(水平)
		L1	照明設備の有無			PV4	システムの容量	0.00 [kW]
	給湯	L2	消費電力の入力方法			PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		L3	消費電力			PV6	アレイの設置方式	下記に掲げるもの以外
		L4	在室検知制御		太陽光発電	PV7	設置方位角	0度(南)
		L5	明るさ検知制御			PV8	設置傾斜角	0度(水平)
		L6	タイムスケジュール制御			PV4	システムの容量	0.00 [kW]
		L7	初期照度補正機能			PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		L1	照明設備の有無			PV6	アレイの設置方式	下記に掲げるもの以外
		L2	消費電力の入力方法			PV7	設置方位角	0度(南)
洗面手洗い	洗面手洗い	HW0	給湯設備の評価	評価する		PV8	設置傾斜角	0度(水平)
		HW1	給湯設備の有無	有	太陽光発電	PV4	システムの容量	0.00 [kW]
		HW2	熱源効率の入力方法	数値を入力する		PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		HW3	熱源効率	0.37		PV6	アレイの設置方式	下記に掲げるもの以外
		HW4	配管保温仕様	保温仕様1		PV7	設置方位角	0度(南)
	浴室	HW5	節湯器具	無		PV8	設置傾斜角	0度(水平)
		HW1	給湯設備の有無	有	太陽光発電	PV4	システムの容量	0.00 [kW]
		HW2	熱源効率の入力方法	数値を入力する		PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		HW3	熱源効率	0.37		PV6	アレイの設置方式	下記に掲げるもの以外
		HW4	配管保温仕様	保温仕様1		PV7	設置方位角	0度(南)
	厨房	HW5	節湯器具	節湯B1		PV8	設置傾斜角	0度(水平)
		HW1	給湯設備の有無	無	太陽光発電	PV4	システムの容量	0.00 [kW]
		HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	結晶系太陽電池
		HW3	熱源効率			PV6	アレイの設置方式	下記に掲げるもの以外
		HW4	配管保温仕様			PV7	設置方位角	0度(南)
		HW5	節湯器具			PV8	設置傾斜角	0度(水平)

様式A 基本情報入力シート

① シート作成月日	2017/4/1
② 入力責任者	モデル太郎

③ 建物名称	Aビル新築工事(事務所部分)			
④ 建築物所在地	都道府県	東京都	市区町村	〇〇区
⑤ 省エネルギー基準 地域区分	6地域			
⑥ 年間日射地域区分	A3区分			
⑦ 延べ面積 [㎡]	10000.45			

⑧ 建築基準法施行規則 別記様式に定める用途	記号	08470		
	用途の区分	事務所		
⑨ モデル建物法で適用する 建物モデルの種類	建物用途	事務所モデル		
	室用途			
⑩ 計算対象部分の床面積 [㎡]	10000.45			
⑪ 計算対象部分の 空調対象床面積 [㎡]	6718.92			
⑫ 計算対象部分の階数	地上	9	地下	1
⑬ 計算対象部分の 階高の合計 [m]	39.6			
⑭ 計算対象部分の 外周長さ [m]	145.4			
⑮ 計算対象部分の 非空調コア部	方位	南	長さ [m]	47.8

様式B-1 開口部仕様入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
建具仕様名称 (入力)	②&③入力 又は ④入力			⑤&⑥入力 又は ⑤&⑦&⑧入力 又は ⑨&⑩入力						備考 (20文字まで)
	幅 W [m] (入力)	高さ H [m] (入力)	窓面積 [m2] (入力)	窓(ガラス+建具)の性能				窓(ガラス+建具)の性能		
				建具の種類 (選択)	ガラスの性能			熱貫流率 [W/(m2・K)] (入力)	日射熱取得率 [-] (入力)	
					ガラスの種類 (選択)	熱貫流率 [W/(m2・K)] (入力)	日射熱取得率 [-] (入力)			
AW-1A	19.2	3.6		アルミ	2LsA12					
AW-1B	2.8	3.6		アルミ	2LsA12					
AW-2	1.8	2.6		アルミ	2LsA12					
AW-3S	0.6	2.8		アルミ	T					
AW-3S(1F部分)	0.6	4		アルミ	T					
AW-3N	0.8	2.8		アルミ	T					
AW-4	0.6	4		アルミ	T					
AW-4(1F部分)	0.6	5.2		アルミ	T					
AW-5	10.9	4.6		アルミ	2LsA12					AW-5の一部

様式B-2 断熱仕様入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
断熱仕様名称 (入力)		③&⑥入力 又は ③&④&⑥入力 又は ⑤&⑥入力 又は ⑦入力					備考 (20文字まで)
	部位種別 (選択)	断熱材種類 大分類) (選択)	断熱材種類 (小分類) (選択)	熱伝導率 [W/(m・K)] (入力)	厚み [mm] (入力)	熱貫流率 [W/(m2・K)] (入力)	
	断熱材1	外壁	吹付け硬質ウレタンフォーム	吹付け硬質ウレタンフォームA種1		35	
断熱材2	外壁	吹付けロックウール			20		
無断熱	外壁	無					
断熱材3	屋根	硬質ウレタンフォーム	硬質ウレタンフォーム 保温板 2種2号		50		

様式B-3 外皮仕様入力シート

① 外皮名称 (入力)	② 方位 (選択)	③	④	⑤	⑥ 断熱仕様名称 (選択)	⑦ 建具仕様名称 (転記)	⑧ 建具等個数 (転記)	⑨ ブラインドの有無 (選択)	⑩		⑪ 備考 (20文字まで)
		③&④入力又は⑤入力							日除け効果係数		
		幅 W [m] (入力)	高さ H [m] (入力)	外皮面積 [m2] (入力)					冷房 (入力)	暖房 (入力)	
北-断熱材1外壁	北			1321.68	断熱材1	AW-3N	72	有			
南-断熱材1外壁	南			1556.76	断熱材1	AW-3S	64	有			
						AW-3S(1F部分)	3	有			
						AW-4	8	有			
						AW-4(1F部分)	1	有			
西-断熱材1外壁	西			346.44	断熱材1	AW-2	8	有			
東-断熱材1外壁	東			324.84	断熱材1	AW-2	8	有			
北-断熱材2外壁	北			194.88	断熱材2	AW-1B	16	有			
南-断熱材2外壁	南			194.88	断熱材2	AW-1B	16	有			
西-断熱材2外壁	西			711.72	断熱材2	AW-1A	8	有			
						AW-5	1	無			
東-断熱材2外壁	東			645.12	断熱材2	AW-1A	8	有			
南-無断熱外壁	南			2.52	無断熱						SD-2
東-無断熱外壁	東			23.4	無断熱						SD-1,SD-3
屋根-無断熱	屋根			67.36	無断熱						
屋根-断熱材3	屋根			1063.18	断熱材3						

様式C-1 空調熱源入力シート

① 熱源機器名称 (入力)	② 熱源機種 (選択)	③ 台数 幅 W [台] (入力)	④ 一台当たりの 定格能力 [kW/台]		⑤ 一台当たりの 定格消費電力 [kW/台]		⑥ 一台当たりの 定格燃料消費量 [kW/台]		⑦ 備考 (20文字まで)
			冷房 (入力)	暖房 (入力)	冷房 (転記)	暖房 (選択)	冷房 (入力)	暖房 (入力)	
RHC-1～3	ウォータチリングユニット(空冷式)	3	208	282	69.3	94	0	0	

様式C-2 空調外気処理入力シート

① 送風機名称 (入力)	② 台数 [台] (入力)	③ 設計給気風量 [m3/h/台] (入力)	④ 設計排気風量 [m3/h/台] (入力)	⑤	⑥	⑦ 全熱交換器の 自動換気切替機能の 有無 (選択)	⑧ 予熱時外気取り 入れ停止の 有無 (転記)	⑨ 備考 (20文字まで)
				全熱交換器の全熱交換効率				
				冷房時 [%] (入力)	暖房時 [%] (入力)			
AHU-2～9W-2	8	2000	1640	60	60	有	有	
AHU-2～9E-2	8	2000	1640	60	60	有	有	

様式C-3 空調二次ポンプ入力シート

① 二次ポンプ名称 (入力)	② 台数 [台] (入力)	③ 1台あたりの 定格流量 [m3/h/台] (入力)	④ 変流量制御の有無 (選択)	⑤ 備考 (20文字まで)
PCH-1-1	1	16	有	台数制御による変流量制御
PCH-1-2	1	16	有	台数制御+INVによる変流量制御
PCH-2-1	1	16	有	台数制御による変流量制御
PCH-2-2	1	16	有	台数制御+INVによる変流量制御
PCH-3-1	1	16	有	台数制御による変流量制御
PCH-3-2	1	16	有	台数制御+INVによる変流量制御

様式C-4 空調送風機入力シート

① 空調送風機名称 (入力)	② 台数 [台] (入力)	③ 1台あたりの 定格風量 [m3/h台] (入力)	④ 変風量制御の有無 (選択)	⑤ 備考 (20文字まで)
AHU-2～9W-1	8	3500	有	
AHU-2～9W-2	8	10000	有	
AHU-2～9E-1	8	2800	有	
AHU-2～9E-2	8	12300	有	

様式D 換気入力シート

① 室名称 (入力)	② 室用途 (選択)	③ 床面積 [㎡] (入力)	④ 換気方式 (選択)	⑤ 機器名称 (入力)	⑥ 台数 [台] (入力)	⑦ 一台あたりの 送風量 [㎡/h台] (入力)	⑧ 一台あたりの 電動機出力 [W/台] (入力)	⑨ 高効率電動機 (選択)	⑩ 送風量制御 (選択)	⑪ 備考 (20文字まで)
B1F 消火ポンプ、排気ファン室	機械室		第三種換気	FE-B-3	1	900	900	有	無	
B1F 受水槽室	機械室		第三種換気	FE-B-4	1	400	280	有	無	
B1F 便所	便所		第三種換気	FE-B-6	1	200	280	有	無	
1F多目的便所	便所		第三種換気	FE-1-4	1	160	90	有	無	
2～9F男子・女子便所	便所		第三種換気	FE2～9-1	8	700	280	有	無	
ELV機械室1	機械室		第三種換気	FE-PH-1	1	3300	900	有	有	
ELV機械室2	機械室		第三種換気	FE-PH-2	1	3300	900	有	有	
ELV機械室3	機械室		第三種換気	FE-PH-3	1	2200	900	有	有	

様式E 照明入力シート

① 室名称 (入力)	② 室用途 (選択)	③ 床面積 [㎡] (入力)	④ 照明器具名称 (入力)	⑤ 消費電力 [W/台] (入力)	⑥ 台数 [台] (入力)	⑦	⑧	⑨	⑩ 初期照度 補正機能 (選択)	⑪ 備考 (20文字まで)
						省エネ制御				
						在室検知 制御 (選択)	明るさ 制御 (選択)	タイムスケジュール 制御 (選択)		
2F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
3F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
4F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
5F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
6F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
7F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
8F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	
9F事務室	事務室	815.48	FRS17-322	95	132	無	有	有	有	

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
室名称 (入力)	室用途 (選択)	床面積 [㎡] (入力)	照明器具名称 (入力)	消費電力 [W/台] (入力)	台数 [台] (入力)	省エネ制御			初期照度 補正機能 (選択)	備考 (20文字まで)
						在室検知 制御 (選択)	明るさ 制御 (選択)	タイムスケジュール 制御 (選択)		
			FRS17-321	36	24	無	有	有	有	
			LRSI-27	27	28	無	有	有	有	

様式F 給湯入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
給湯系統名称	給湯用途	熱源名称	台数	定格 加熱能力 [kW/台]	定格 消費電力 [kW/台]	定格 燃料消費量 [kW/台]	配管保温仕様	節湯器具	備考
(入力)	(選択)	(入力)	(入力)	(入力)	(入力)	(入力)	(選択)	(選択)	(20文字まで)
便所	洗面・手洗い	WHE-2-2～9-M・W	16	1.5	1.5		保温仕様1		
シャワー室	浴室	WHE-4	1	1.1	1.1		保温仕様1	節湯B1	

様式G 昇降機入力シート

①	②	③
昇降機名称	速度制御方式	備考
(入力)	(選択)	(20文字まで)
EV-1	可変電圧可変周波数制御方式(回生あり)	
EV-2	可変電圧可変周波数制御方式(回生あり)	
EV-3	可変電圧可変周波数制御方式(回生あり)	
EV-4(非常用)	可変電圧可変周波数制御方式(回生あり)	

様式H 太陽光発電入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
システム名称 (入力)	太陽電池の種類 (選択)	アレイ設置方式 (選択)	アレイのシステム容量 [kW] (入力)	パネルの設置方位角 [°] (選択)	パネルの設置傾斜角 [°] (転記)	備考 (20文字まで)
太陽電池	結晶系太陽電池	屋根置き形	10	0度(南)	30度	

モデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)による計算結果

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称		Aビル新築工事(飲食店部分)			
(2) 床面積		813.73	XML ID/再出力コード		
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分		6地域	c0e1b3b4-33aa-4023		
(4) モデル建物		飲食店モデル	LFVZ-UBQZ-QOXD-WJJE		
(5) 評価結果					
年間熱負荷係数		【BPI _m 】	1.00		
一次エネルギー消費量		【BEI _m 】	1.03		
空気調和設備		【BEI _m /AC】	0.82		
機械換気設備		【BEI _m /V】	1.02		
照明設備		【BEI _m /L】	1.45		
給湯設備		【BEI _m /HW】	-		
昇降機		【BEI _m /EV】	-		
太陽光発電			なし		
(6) 判定	BPI _m ≤ 1.00		達成	BEI _m > 1.00	未達成

2. 当該建築物の仕様

(1) 外皮の仕様

外皮項目	外皮の仕様	
A.建設計画	階数 / 階高の合計	1階 / 6.0m
	非空調コア部の方位	北
	建物の外周長さ	83.0m (そのうち、非空調コア部長さ 1.5m)
B.外壁仕様	外壁面積	北側 253.90m ² 東側 145.20m ² 南側 17.40m ² 西側 34.34m ² 屋根 86.09m ² 外気に接する床 0.00m ²
	平均熱貫流率	外壁 0.74W/(m ² K) 屋根 0.37W/(m ² K) 外気に接する床 0.00W/(m ² K)
C.窓仕様	窓面積	北側 1.10m ² 東側 0.00m ² 南側 0.00m ² 西側 46.06m ² 屋根面 0.00m ²
	平均熱貫流率	外壁 3.33W/(m ² K) 屋根面 -
	平均日射熱取得率	外壁 0.358 屋根面 -

(2) 空気調和設備の仕様

設備項目	設備の仕様	
A.熱源	熱源機種(冷房)	パッケージエアコンディショナ(空冷式)
	個別熱源比率(冷房)	100%
	熱源容量(冷房)	193.53W/m ²
	熱源効率(冷房)※	1.18
	熱源機種(暖房)	パッケージエアコンディショナ(空冷式)
	個別熱源比率(暖房)	100%
	熱源容量(暖房)	215.99W/m ²
	熱源効率(暖房)※	1.35
B.外気処理	全熱交換器	有、全熱交換効率:60%以上65%未満、自動換気切替機能:無
	外気取り入れ停止	無
C.搬送制御	二次ポンプ	無
	空調機	無

※一次エネルギー換算値

(3) 機械換気設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.機械室	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	
B.便所	換気方式	第二種または第三種換気
	電動機出力	単位送風量あたりの電動機出力 2.80 W/(m3/h)
	高効率電動機	有
	送風量制御	無
	計算対象床面積	-
C.駐車場	換気方式	評価対象設備なし
	電動機出力	
	高効率電動機	
	送風量制御	
	計算対象床面積	
D.厨房	換気方式	第一種換気
	電動機出力	単位送風量あたりの電動機出力 0.35 W/(m3/h)
	高効率電動機	有
	送風量制御	無
	計算対象床面積	235.01 m2

(4) 照明設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.客席	床面積あたりの消費電力	33.06 W/m2
	制御	在室検知制御:無、明るさ検知制御:有 タイムスケジュール制御:有、初期照度補正機能:有
	床面積あたりの消費電力	
	制御	
	床面積あたりの消費電力	
	制御	

(5) 給湯設備の仕様

室用途		設備の仕様
A.洗面・手洗い	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	
B.浴室	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	
C.厨房	熱源効率	評価対象設備なし
	配管保温仕様	
	節湯器具	

(6) 昇降機の仕様

設備項目		設備の仕様
A.制御方式	速度制御方式	評価対象設備なし

(7) 太陽光発電設備の仕様

設備項目		設備の仕様
A.パネル	面数	設置なし
B.パネル1	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
C.パネル2	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
D.パネル3	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	
E.パネル4	アレイシステム容量	
	アレイの種類	
	アレイの設置方式	
	アレイの設置方位角	
	アレイの設置傾斜角	

入力シートによる入力内容の一覧

1. アップロードされた入力シート

■ 様式A 基本情報入力シート ■ 様式B-1 開口部仕様入力シート ■ 様式B-3 外皮仕様入力シート ■ 様式C-1 空調熱源入力シート □ 様式C-3 空調二次ポンプ入力シート ■ 様式D 換気入力シート □ 様式F 給湯入力シート □ 様式H 太陽光発電入力シート	■ 様式B-2 断熱仕様入力シート ■ 様式C-2 空調外気処理入力シート □ 様式C-4 空調送風機入力シート ■ 様式E 照明入力シート □ 様式G 昇降機入力シート
---	---

2. 入力シートによる入力項目

基本情報	C1	建物名称	Aビル新築工事(飲食店部分)	空調	AC13	全熱交換器の有無	有
	C2	地域区分	6地域		AC14	全熱交換効率	60%以上65%未満
	C3	適用するモデル建物	飲食店モデル		AC15	自動換気切替機能	無
	C4	計算対象室用途			AC16	予熱時外気取入れ停止の有無	無
	C5	計算対象面積	813.73 [m ²]		AC17	二次ポンプの変流量制御	無
建物形状 外皮性能	PAL1	階数	1階	機械室	AC18	空調機の変風量制御	無
	PAL2	各階の階高の合計	6 [m]		V0	機械換気設備の評価	評価する
	PAL3	建物の外周長さ	83 [m]		V1	機械換気設備の有無	無
	PAL4	非空調コア部の外周長さ	1.5 [m]		V2	換気方式	
	PAL5	非空調コア部の方位	北		V3	電動機出力の入力方法	
	PAL6	外壁面積-北	253.90 [m ²]		V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	PAL7	外壁面積-東	145.20 [m ²]		V5	高効率電動機の有無	
	PAL8	外壁面積-南	17.40 [m ²]	便所	V6	送風量制御の有無	
	PAL9	外壁面積-西	34.34 [m ²]		V7	計算対象床面積	
	PAL10	屋根面積	86.09 [m ²]		V1	機械換気設備の有無	有
	PAL11	床面積	0.00 [m ²]		V2	換気方式	第二種または第三種換気方式
	PAL12	外壁の平均熱貫流率	0.74 [W/m ² K]		V3	電動機出力の入力方法	単位送風量あたりの電動機出力を入力する
	PAL13	屋根の平均熱貫流率	0.37 [W/m ² K]		V4	単位送風量あたりの電動機出力	2.80 [W/(m ³ /h)]
	PAL14	床の平均熱貫流率	0.00 [W/m ² K]		V5	高効率電動機の有無	有
窓性能	PAL15	窓面積-外壁面(北)	1.10 [m ²]	換気	V6	送風量制御の有無	無
	PAL16	窓面積-外壁面(東)	0.00 [m ²]		V7	計算対象床面積	0.00 [m ²]
	PAL17	窓面積-外壁面(南)	0.00 [m ²]		V1	機械換気設備の有無	無
	PAL18	窓面積-外壁面(西)	46.06 [m ²]		V2	換気方式	
	PAL19	窓面積-屋根面	0.00 [m ²]		V3	電動機出力の入力方法	
	PAL20	窓の平均熱貫流率(壁)	3.33 [W/m ² K]		V4	単位送風量あたりの電動機出力	
	PAL21	窓の平均日射熱取得率(壁)	0.36		V5	高効率電動機の有無	
	PAL22	窓の平均熱貫流率(屋根)	0.00 [W/m ² K]	駐車場	V6	送風量制御の有無	
	PAL23	窓の平均日射熱取得率(屋根)	0.00		V7	計算対象床面積	
空調熱源	AC0	空気調和設備の評価	評価する		V1	機械換気設備の有無	有
	AC1	主たる熱源機種(冷房)	パッケージエアコンディショナ(空冷式)		V2	換気方式	第一種換気方式
	AC2	個別熱源比率(冷房)	100 [%]		V3	電動機出力の入力方法	単位送風量あたりの電動機出力を入力する
	AC3	熱源容量(冷房)の入力方法	数値を入力する		V4	単位送風量あたりの電動機出力	0.35 [W/(m ³ /h)]
	AC4	床面積あたりの熱源容量(冷房)	194 [W/m ²]		V5	高効率電動機の有無	有
	AC5	熱源効率(冷房)の入力方法	数値を入力する		V6	送風量制御の有無	無
	AC6	熱源効率(冷房)	1.18		V7	計算対象床面積	235.01 [m ²]
	AC7	主たる熱源機種(暖房)	パッケージエアコンディショナ(空冷式)	厨房			
	AC8	個別熱源比率(暖房)	100 [%]				
	AC9	熱源容量(暖房)の入力方法	数値を入力する				
	AC10	床面積あたりの熱源容量(暖房)	215.99 [W/m ²]				
	AC11	熱源効率(暖房)の入力方法	数値を入力する				
	AC12	熱源効率(暖房)	1.35				

2. 入力シートによる入力項目(続き)

客席	L0	照明設備の評価	評価する	昇降機	EV1	昇降機の有無	無
	L1	照明設備の有無	有		EV2	速度制御方式	
	L2	消費電力の入力方法	数値を入力する		PV1	設備の有無	無
	L3	消費電力	33.06 [W/m ²]		PV2	年間日射地域区分	
	L4	在室検知制御	無		PV3	方位の異なるパネルの数	
	L5	明るさ検知制御	有		PV4	システムの容量	
	L6	タイムスケジュール制御	有		PV5	アレイの種類	
	L7	初期照度補正機能	有		PV6	アレイの設置方式	
	L1	照明設備の有無			PV7	設置方位角	
	L2	消費電力の入力方法			PV8	設置傾斜角	
	L3	消費電力			PV4	システムの容量	
	L4	在室検知制御			PV5	アレイの種類	
	L5	明るさ検知制御			PV6	アレイの設置方式	
	L6	タイムスケジュール制御			PV7	設置方位角	
	L7	初期照度補正機能			PV8	設置傾斜角	
	L1	照明設備の有無			PV4	システムの容量	
	L2	消費電力の入力方法			PV5	アレイの種類	
	L3	消費電力			PV6	アレイの設置方式	
	L4	在室検知制御			PV7	設置方位角	
	L5	明るさ検知制御			PV8	設置傾斜角	
	L6	タイムスケジュール制御			PV4	システムの容量	
	L7	初期照度補正機能			PV5	アレイの種類	
照明	HW0	給湯設備の評価	評価しない	太陽光発電	PV6	アレイの設置方式	
	HW1	給湯設備の有無			PV7	設置方位角	
	HW2	熱源効率の入力方法	指定しない		PV8	設置傾斜角	
	HW3	熱源効率	0.30				
	HW4	配管保温仕様	裸管				
	HW5	節湯器具	無				
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					
	HW3	熱源効率					
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					
	HW3	熱源効率					
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					
	HW3	熱源効率					
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
洗面手洗い	HW1	給湯設備の有無		パネル1	PV4	システムの容量	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	
	HW3	熱源効率			PV6	アレイの設置方式	
	HW4	配管保温仕様			PV7	設置方位角	
	HW5	節湯器具			PV8	設置傾斜角	
	HW1	給湯設備の有無			PV4	システムの容量	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	
	HW3	熱源効率			PV6	アレイの設置方式	
	HW4	配管保温仕様			PV7	設置方位角	
	HW5	節湯器具			PV8	設置傾斜角	
	HW1	給湯設備の有無			PV4	システムの容量	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	
給湯	HW1	給湯設備の有無		パネル2	PV6	アレイの設置方式	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV7	設置方位角	
	HW3	熱源効率			PV8	設置傾斜角	
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					
	HW3	熱源効率					
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					
浴室	HW1	給湯設備の有無		パネル3	PV4	システムの容量	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	
	HW3	熱源効率			PV6	アレイの設置方式	
	HW4	配管保温仕様			PV7	設置方位角	
	HW5	節湯器具			PV8	設置傾斜角	
	HW1	給湯設備の有無			PV4	システムの容量	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	
	HW3	熱源効率			PV6	アレイの設置方式	
	HW4	配管保温仕様			PV7	設置方位角	
	HW5	節湯器具			PV8	設置傾斜角	
	HW1	給湯設備の有無			PV4	システムの容量	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV5	アレイの種類	
厨房	HW1	給湯設備の有無		パネル4	PV6	アレイの設置方式	
	HW2	熱源効率の入力方法			PV7	設置方位角	
	HW3	熱源効率			PV8	設置傾斜角	
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					
	HW3	熱源効率					
	HW4	配管保温仕様					
	HW5	節湯器具					
	HW1	給湯設備の有無					
	HW2	熱源効率の入力方法					

様式A 基本情報入力シート

① シート作成月日	2017/4/1
② 入力責任者	モデル太郎

③ 建物名称	Aビル新築工事(飲食店部分)			
④ 建築物所在地	都道府県	東京都	市区町村	〇〇区
⑤ 省エネルギー基準 地域区分	6地域			
⑥ 年間日射地域区分				
⑦ 延べ面積 [㎡]	813.73			

⑧ 建築基準法施行規則 別記様式に定める用途	記号	08450		
	用途の区分	飲食店		
⑨ モデル建物法で適用する 建物モデルの種類	建物用途	飲食店モデル		
	室用途			
⑩ 計算対象部分の床面積 [㎡]	813.73			
⑪ 計算対象部分の 空調対象床面積 [㎡]	578.72			
⑫ 計算対象部分の階数	地上	1	地下	0
⑬ 計算対象部分の 階高の合計 [m]	6			
⑭ 計算対象部分の 外周長さ [m]	83			
⑮ 計算対象部分の 非空調コア部	方位	北	長さ [m]	1.5

様式B-1 開口部仕様入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
建具仕様名称 (入力)	②&③入力 又は ④入力			⑤&⑥入力 又は ⑤&⑦&⑧入力 又は ⑨&⑩入力						備考 (20文字まで)
	幅 W [m] (入力)	高さ H [m] (入力)	窓面積 [m2] (入力)	窓(ガラス+建具)の性能				窓(ガラス+建具)の性能		
				建具の種類 (選択)	ガラスの性能			熱貫流率 [W/(m2・K)] (入力)	日射熱取得率 [-] (入力)	
					ガラスの種類 (選択)	熱貫流率 [W/(m2・K)] (入力)	日射熱取得率 [-] (入力)			
AW-5	9.1	4.6		アルミ	2LsA12					AW-5の一部
AW-6	1.1	0.5		アルミ	T					
AW-7	2	2.1		アルミ	T					

様式B-2 断熱仕様入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
断熱仕様名称 (入力)		③&⑥入力 又は ③&④&⑥入力 又は ⑤&⑥入力 又は ⑦入力					備考 (20文字まで)
	部位種別 (選択)	断熱材種類 大分類) (選択)	断熱材種類 (小分類) (選択)	熱伝導率 [W/(m・K)] (入力)	厚み [mm] (入力)	熱貫流率 [W/(m2・K)] (入力)	
	断熱材1	外壁	吹付け硬質ウレタンフォーム	吹付け硬質ウレタンフォームA種1		35	
断熱材2	外壁	吹付けロックウール			20		
無断熱	外壁	無					
断熱材3	屋根	硬質ウレタンフォーム	硬質ウレタンフォーム 保温板 2種2号		50		

様式B-3 外皮仕様入力シート

① 外皮名称 (入力)	② 方位 (選択)	③	④	⑤	⑥ 断熱仕様名称 (選択)	⑦ 建具仕様名称 (転記)	⑧ 建具等個数 (転記)	⑨ ブラインドの有無 (選択)	⑩		⑪ 備考 (20文字まで)
		③&④入力又は⑤入力							日除け効果係数		
		幅 W [m] (入力)	高さ H [m] (入力)	外皮面積 [m2] (入力)					冷房 (入力)	暖房 (入力)	
北-断熱材1外壁	北			255	断熱材1	AW-6	2	有			
南-断熱材1外壁	南			17.4	断熱材1						
西-断熱材1外壁	西			25.8	断熱材1	AW-5	1	無			
						AW-7	1	無			
東-断熱材1外壁	東			145.2	断熱材1						
西-断熱材2外壁	西			54.6	断熱材2						
屋根-断熱材3	屋根			86.09	断熱材3						

様式C-1 空調熱源入力シート

① 熱源機器名称 (入力)	② 熱源機種 (選択)	③ 台数 幅 W [台] (入力)	④ 一台当たりの 定格能力 [kW/台]		⑤ 一台当たりの 定格消費電力 [kW/台]		⑥ 一台当たりの 定格燃料消費量 [kW/台]		⑦ 備考 (20文字まで)
			冷房 (入力)	暖房 (入力)	冷房 (転記)	暖房 (選択)	冷房 (入力)	暖房 (入力)	
PAC-1	パッケージエアコンディショナ(空冷式)	1	112	125	35.1	34.1			

様式C-2 空調外気処理入力シート

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ 全熱交換器の 自動換気切替機能の 有無 (選択)	⑧ 予熱時外気取り 入れ停止の 有無 (転記)	⑨ 備考 (20文字まで)
送風機名称 (入力)	台数 [台] (入力)	設計給気風量 [m3/h/台] (入力)	設計排気風量 [m3/h/台] (入力)	全熱交換器の全熱交換効率				
				冷房時 [%] (入力)	暖房時 [%] (入力)			
HEU-1-1～2	2	2000	2000	60	60	無	無	

様式D 換気入力シート

① 室名称 (入力)	② 室用途 (選択)	③ 床面積 [㎡] (入力)	④ 換気方式 (選択)	⑤ 機器名称 (入力)	⑥ 台数 [台] (入力)	⑦ 一台あたりの 送風量 [㎡/h台] (入力)	⑧ 一台あたりの 電動機出力 [W/台] (入力)	⑨ 高効率電動機 (選択)	⑩ 送風量制御 (選択)	⑪ 備考 (20文字まで)
厨房	厨房	235.01	第一種換気	FS-1-7	1	10500	3700	有		
				FE-1-7	1	10500	3700	有		
飲食店事務室	便所		第三種換気	FE-1-8	1	100	280	有		

様式E 照明入力シート

① 室名称 (入力)	② 室用途 (選択)	③ 床面積 [㎡] (入力)	④ 照明器具名称 (入力)	⑤ 消費電力 [W/台] (入力)	⑥ 台数 [台] (入力)	⑦	⑧	⑨	⑩ 初期照度 補正機能 (選択)	⑪ 備考 (20文字まで)
						省エネ制御				
						在室検知 制御 (選択)	明るさ 制御 (選択)	タイムスケジュール 制御 (選択)		
飲食スペース	客席	534.73	FRS23-H422	95	177	無	有	有	有	
			FSS10-321	36	24	無	有	有	有	